

あいち山村振興ビジョン 2025

～ 「暮らし」・「ひと」・「しごと」を未来へつなぐ ～

年次レポート（2025年度版）

＼ 愛に行こう！



あいちの山里 & 離島

2025年9月



目 次

第1章 年次レポートの趣旨

- 1. 年次レポートの趣旨…………… 1
- 2. あいち山村振興ビジョン 2025 が目指す三河山間地域のイメージ…………… 1
- 3. あいち山村振興ビジョン 2025 の対象地域…………… 2

第2章 2024 年度の主な取組状況

- 柱1 安全安心で持続可能な地域社会づくり…………… 3
- 柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成……………20
- 柱3 なりわいを育てる……………27
- 柱4 地域資源のさらなる磨き上げ……………37
- 柱5 新たなライフスタイルへの対応……………48
- 地域別の取組状況……………51

第3章 参考資料……………61

第1章 年次レポートの趣旨

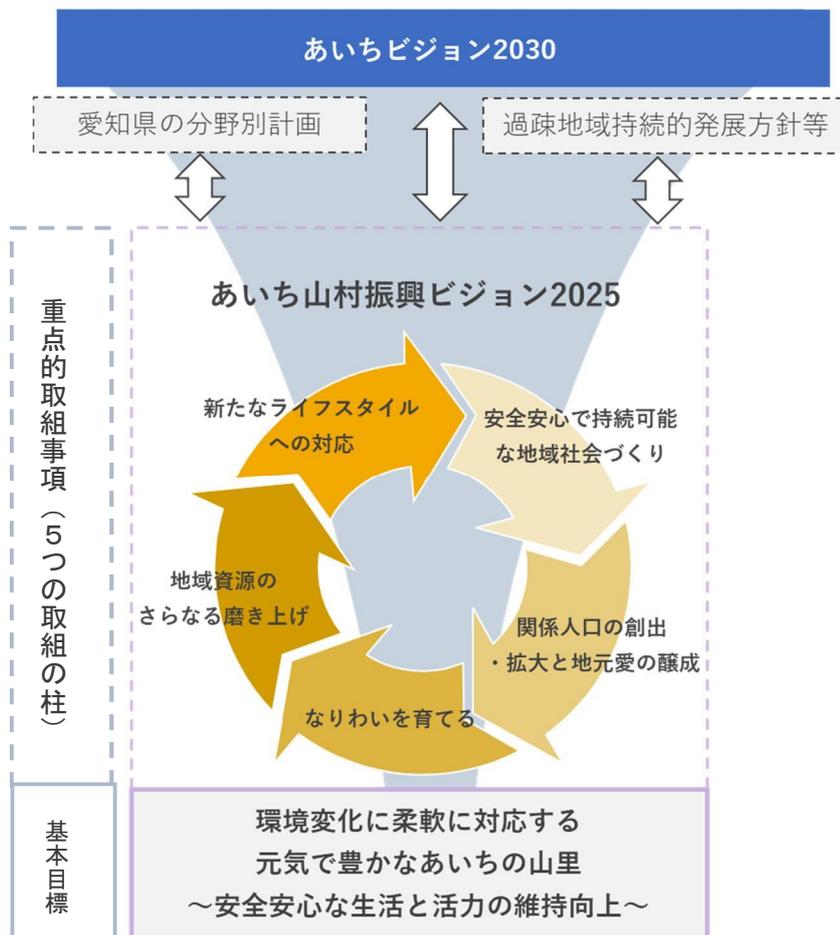
1. 年次レポートの趣旨

リニア中央新幹線や設楽ダム、リモートワーク等働き方の変化による新しい人の動きなど、三河山間地域を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、将来にわたり安全・安心に暮らし続けることができる三河山間地域をつくるため、2020年12月に「あいち山村振興ビジョン2025」を策定し、基本目標「環境変化に柔軟に対応する元気で豊かなあいちの山里～安全安心な生活と活力の維持向上～」の実現に向け、5つの取組の柱（重点的取組事項）に基づき各種施策に取り組むこととしています。

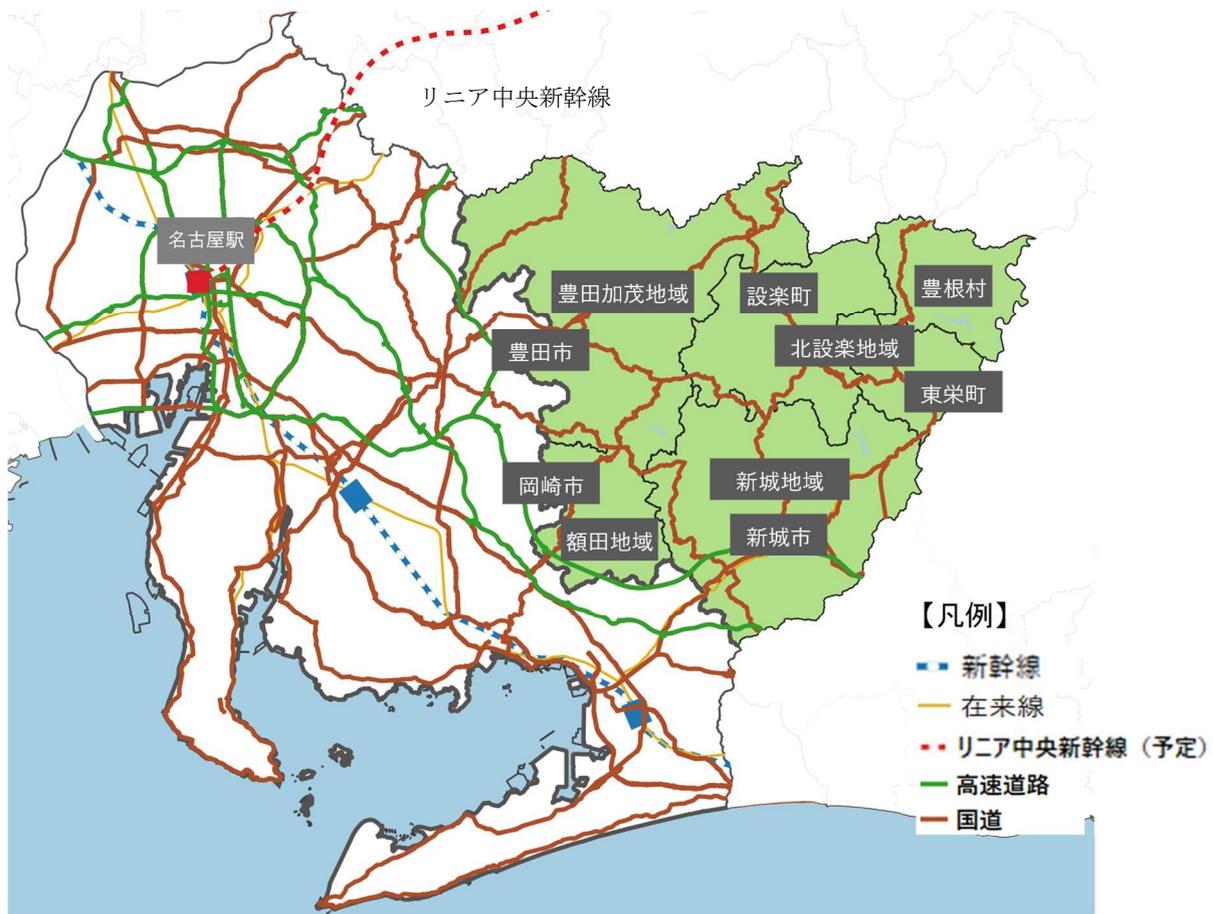
このビジョンの的確な推進を図るため、毎年度年次レポートを作成し、ビジョンに示されている施策の進捗状況を把握し、ビジョンの更なる充実を図っていくこととしています。

こうした趣旨を踏まえ、本ビジョンに基づく2024年度の取組をまとめた年次レポートとして、「あいち山村振興ビジョン2025年次レポート（2025年度版）」を作成しました。

2. あいち山村振興ビジョン2025が目指す三河山間地域のイメージ



3. あいち山村振興ビジョン 2025 の対象地域



● 三河山間地域の人口及び面積

市町村名	人口（人）		面積（km ² ）
	2015年	2020年	
岡崎市（一部）	8,109	7,531	160.27
豊田市（一部）	40,249	37,842	628.36
新城市	47,133	44,355	499.23
設楽町	5,074	4,437	273.94
東栄町	3,446	2,942	123.38
豊根村	1,135	1,017	155.88
三河山間地域全体	105,146	98,124	1,841.06
愛知県全体	7,483,128	7,542,415	5,173.07

三河山間地域割合	1.41%	1.30%	35.59%
-----------------	--------------	--------------	---------------

出典：総務省「国勢調査」

第2章 2024年度の主な取組状況

柱1 安全安心で持続可能な地域社会づくり

- ・ 生活に欠かせない道路網の整備・バス路線の確保を始め、情報通信基盤の拡充、森林・農地等の保全・整備、保健医療福祉サービスなどの生活基盤の維持・拡充を行います。
- ・ また、新型コロナウイルスを始めとした感染症や南海トラフ地震、気候変動の影響により大型化した台風、大雨等の影響による災害への対応の充実を図ります。
- ・ そのため、それぞれの市町村（地域）だけでなく、広域的に取り組むことで、将来にわたって安全安心に暮らせる地域社会を目指します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2024年度）※1	目標値（2025年度）※2
公共交通の主な改善件数 （累計）	【達成】26件	10件
道路供用延長（累計）	4.7km	20.7km
森林の保全整備面積	2,141ha	4,000ha
農地の保全整備面積	898ha	900ha
三河山間地域の人口	93,355人※3	95,105人

※1 指標名に（累計）とあるものは、2021～2024年度の累計（以下同じ。）

※2 指標名に（累計）とあるものは、2021～2025年度の累計（以下同じ。）

※3 三河山間地域の人口（2024年度実績値）は「あいちの人口（年報）」（愛知県）、「岡崎市の人口」（岡崎市）、「豊田市の人口」（豊田市）より地域振興室で集計

（2024年度の主な取組）

◆新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症への備え

<医療提供体制の強化に係る取組>

- ・ 新たな感染症の発生及びまん延に備えるため、病床、外来医療及び医療人材並びに感染症対策物資の確保の強化、情報基盤の整備等の措置を講ずるため、**県内の医療機関等と、医療措置協定を締結**しました。

三河山間地域における実績：46施設

【保健医療局感染症対策課】

<福祉施設における取組>

- ・ 児童福祉施設における感染症拡大防止策への支援を実施しました。

【福祉局子育て支援課】

<県民の方一人一人が感染症の予防及び蔓延防止に取り組む社会づくり>

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめ、県内における感染症の発生状況をホームページで公表したほか、季節性インフルエンザについて、県内の感染状況をもとにインフルエンザ警報を発令しました。

【保健医療局感染症対策課】

- ・県ホームページにて、新型コロナウイルス感染症や感染症胃腸炎等の各種感染症の基本的な感染症防止対策を周知しました。

【保健医療局感染症対策課】

<関係機関や諸団体と緊密に連携・協力した平時からの体制づくり>

- ・新たな感染症の発生及びまん延に備えるため、病床、外来医療及び医療人材並びに感染症対策物資の確保の強化、情報基盤の整備等の措置を講ずるため、**県内の医療機関等と、医療措置協定を締結**しました。

三河山間地域における実績：46 施設

【保健医療局感染症対策課】（再掲）

- ・新型コロナワクチン接種後の**副反応**を疑う症状について、総合的な診療ができる体制を有する専門的な医療機関に協力依頼を行い、**窓口を設置し運営**しました。

設置件数：5 医療機関（全県分）

【保健医療局感染症対策課】

- ・BCPセミナーや県政お届け講座の開催等によるBCPの普及・啓発活動を実施しました。（感染発生段階ごとの対応方針検討の考え方や職場別の感染症予防策を掲載した「**新型コロナウイルス感染症対策あいちBCPモデル**」の内容も含む）。

セミナー等 計4回開催

【経済産業局中小企業金融課】

◆持続可能な行財政基盤の確立

- ・三河山間地域の市町村へ、市町村行政に対する支援の一つとして、**県職員を派遣**しました。

派遣先市町村：岡崎市、設楽町、東栄町、豊根村

【総務局市町村課】

- ・山間市町村の**社会資本整備等**に対し、**山間市町村振興資金貸付金を貸付**けました。

貸付実施市町村：

新城市 小規模林道事業(舗装)林道長久保線

設楽町 町道災害復旧工事、公営企業移行事業・簡易水道 等

豊根村 地方公営企業法適用事業

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域の実情にあった公共交通の維持・確保への支援

<JR東海に対する働きかけの実施>

- ・JR 東海に対して、三河大野駅から東栄駅区間の IC カード乗車券の早期導入や東栄駅への特急列車停車の実施、各種イベントを通じた魅力ある沿線の地域づくりへの協力についての要望を実施しました。

【都市・交通局交通対策課】

<バス路線の維持・確保のための取組>

- ・国とともに行う山間地域のバス車両購入に係る減価償却に関する補助や、乗合バス路線の運行を維持するための支援を行いました。

路線維持費補助件数：6 系統

車両減価償却費等補助件数：16 両

【都市・交通局交通対策課】

- ・三河山間地域における交通基盤の確保・維持を図るため、路線バス等を運行する市町村に対して、その運行に要する経費及び車両購入に係る経費の一部を支援しました。(過疎バス路線維持費補助金)

補助路線数：33 路線 2 地域

車両購入件数：1 件

【総務局市町村課地域振興室】

- ・ 県及び人口問題対策が特に必要な地区のある市町村が、人口問題の現状や課題を共有するとともに、連携・協力して、当該地区の実情に応じた人口問題対策を検討するため設置された「愛知県・市町村人口問題対策検討会議」のなかに「**地域交通確保ワーキンググループ**」を設置し、持続可能な交通の確保に向けた今後の施策案の検討を行いました。

人口問題対策が特に必要な地区を有する市町村：

岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村を始めとする県内 11 市町村
【政策企画局地方創生課・都市・交通局交通対策課】

◆社会資本整備等に対する支援

<県立学校施設の大規模改造や長寿命化改修>

- ・ 豊橋特別支援学校山嶺教室体育館（田口高校）への**空調整備**を行うとともに、県立学校施設長寿命化計画に基づき、**長寿命化改修や大規模改造**を行いました。

1 田口高校

- ① 空調整備設計・工事：体育館（豊橋特別支援学校山嶺教室）
- ② 長寿命化改修（築 60 年経過）設計：教室棟第 3 棟（西・中央）始め 2 棟
- ③ 大規模改造（築 30 年経過）工事：鴨山演習林森林土木実習室 1 棟

2 新城有教館高校

- ① 大規模改造（築 30 年経過）設計：園芸実習室始め 2 棟
- ② 大規模改造（築 30 年経過）工事：園芸実習室 1 棟

3 新城有教館高校作手校舎

- ① 大規模改造（築 30 年経過）設計：農業機械実習室始め 2 棟

【教育委員会財務施設課】

- ・ 三河山間地域の**簡易水道施設整備**に対し、**補助**を行いました。

設楽町、東栄町及び豊根村の 3 事業に対し補助金を交付

【建設局上下水道課】

◆5Gへの対応を含む情報通信基盤の拡充・活用

<公衆無線 LAN 環境の充実に向けた取組の支援>

- ・ あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会において、無料公衆無線 LAN の整備状況調査を実施し、今後の施策の参考となるよう市町村に調査結果を共有しました。

【総務局情報政策課】

<5Gなどの導入や情報通信基盤設備の更新に係る国への要望等>

- ・情報通信基盤について、公設公営方式で整備・運営している北設楽郡3町村に対し、民間事業者への事業譲渡の検討が円滑に進むよう支援を実施するとともに、地元の負担軽減策について、国への要望を実施しました。

【総務局市町村課・情報政策課】

◆大規模災害への備え

<道路の整備、山地災害対策、農業水利施設の耐震対策や豪雨対策等>

- ・災害時の緊急活動や物資輸送などを支える緊急輸送道路を中心に、道路の用地買収や工事を推進しました。

【建設局道路建設課】

- ・土砂災害対策として、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設、地すべり対策施設等の整備を実施するとともに、土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施しました。

施設等の整備：土砂災害危険箇所3箇所（豊田市）

【建設局砂防課】

- ・山地災害対策のため、治山ダムや土留工などの治山施設を計画的に整備しました。

山村地域の防災・減災対策面積：394ha（全県）

【農林基盤局森林保全課】

- ・農業用ため池の決壊による災害を未然に防止するため、耐震整備等を行いました。

地区数：3地区（豊田市、新城市）



【農林基盤局農地整備課】

- ・あいち・なごや強靱化共創センターの行政人材育成研修において、避難情報の判断・伝達に関する知識を深めるための研修を実施しました。（2024年5月23日（土砂災害編））

【防災安全局災害対策課】

- ・市町村が実施する**消防団活動支援事業**について、南海トラフ地震等対策事業費補助金として**財政支援を実施**しました。

対象市町村合計 80,633 千円(岡崎市、豊田市、東栄町、豊根村を含む 34 市町村)

【防災安全局消防保安課】

- ・防災ヘリコプターについて、名古屋市への**運航委託**により、救助活動等を実施しました。

防災ヘリコプター「わかしゃち」の運航実績：緊急運航 68 件（県外含む）

【防災安全局消防保安課】

＜土地利用の適正な規制＞

- ・市町村の土地利用計画の立案にあたって、災害リスクや防災対策の状況を総合的に勘案し、防災上望ましくない区域を除外するよう助言・指導を行い、**土地利用の適正な規制**を実施しました。

【都市・交通局都市計画課】

＜地籍調査の実施等＞

- ・大規模災害後の迅速な復旧・復興等に備え、市町村に対して、トップセールス等を活用して**地籍調査を推進**しました。また、**リモートセンシングデータ**などの先進的技術を活用し、地域の特性に応じた効率的な調査手法を導入するように市町村に促しました。

※リモートセンシングとは、対象物に触れることなく、離れたところから物体の形状や性質などを観測する技術のこと。

【都市・交通局都市計画課】

<住民の方の防災意識の向上、基礎的な消防施設の整備に対する支援>

- ・自主防災活動の活性化を図るため、**自主防災組織リーダー研修会**を実施しました。また、防災意識の高揚に積極的に取り組んでいる**団体を表彰**することで、地域防災力の向上を図りました。

自主防災組織リーダー研修会

2024年12月20日

場所：ウインクあいち（名古屋市）

受講者数：24名

愛知県防災貢献団体表彰：5団体

【防災安全局防災危機管理課】

- ・小型動力ポンプ付積載車及び多機能型ポンプ自動車といった**消防団活動に必要な車両整備に係る財政支援**を実施しました。

補助実績額：43,755千円 ※消防団活動支援事業に含む（豊田市を含む12市）

【防災安全局消防保安課】

◆広域交通基盤の整備・強化

<広域道路ネットワークの強化に資する道路整備の推進>

- ・**国道151号**（新城市：バイパス整備）、**257号**（設楽町：バイパス整備）、**301号**（豊田市：バイパス整備、岡崎市：現道拡幅）、**420号**（設楽町：拡幅工事、バイパス整備）、**473号**（豊田市：拡幅工事、設楽町、東栄町：バイパス整備）をはじめとする**国道の整備を推進**しました。



【建設局道路建設課】

- ・主要地方道長篠東栄線（新城市：バイパス整備）、豊橋乗本線（新城市：バイパス整備）、阿南東栄線（豊根村：線形改良等）、東栄稲武線（設楽町：線形改良等）をはじめとする県道の整備を推進しました。



【建設局道路建設課】

<三遠南信自動車道の整備>

- ・国土交通省及び財務省などに対して、三遠南信道路建設促進期成同盟会（愛知県は副会長）が整備促進に係る要望活動を行いました。

（2024年7月24日、11月21日）

【建設局道路建設課】

<市町村道の県代行制度による整備>

- ・住民の生活道路であり、三河山間地域内において基幹道路に指定されている道路について、4市町村5路線で県代行制度による整備を行いました。

整備路線名：

- ・市道大島線（新城市）
- ・町道上原荒尾線（設楽町）
- ・町道豊邦作手線（設楽町）
- ・町道本郷下川農免線（東栄町）
- ・村道猪見谷下上黒川線（豊根村）

【建設局道路維持課】

- ・山村地域の基幹的な農道の整備・保全を行いました。

整備路線名：広域農道奥三河線（設楽町）

【農林基盤局農地整備課】

◆森林・農地等の保全・整備

<森林や農地の多面的機能の維持・向上のための取組>

- ・造林事業や治山事業、あいち森と緑づくり事業による間伐等の**森林整備**を実施しました。

造林事業 475ha（全県）
（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 462ha）

治山事業 111ha（全県）
（うち豊田市、新城市、設楽町、豊根村 93ha）

あいち森と緑づくり事業 829ha（全県）
（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 800ha）

間伐実施面積 2,141ha（全県）
（うち岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村 2,066ha）

【農林基盤局森林保全課、森林保全課森と緑づくり推進室】

- ・森林経営管理サポートセンターや県・市町村連絡調整会議を活用し、森林経営管理制度の円滑な実施に対する市町村の取組等を支援したほか、**市町村職員や林業従事者に対し研修**を実施しました。

※あいち森林経営管理サポートセンターは、公益財団法人愛知県林業振興基金に委託し、森林経営管理制度について市町村からの相談等に対する助言や情報収集を行う窓口。



林業従事者向け研修の実施（70日、470名）

市町村職員向け森林・林業基礎研修等の実施（10日、169名）

市町村職員向け木材利用研修の実施（4回、95名）

【農林基盤局林務課、林務課あいちの木活用推進室】

- ・用水路や排水路などの**農業生産基盤の整備**を行う三河山間5市町村含む6市町村等に対し、**山村振興営農環境整備事業費補助金**による支援を行いました。

三河山間地域への補助金額：69,000千円

【農林基盤局農地整備課】

- ・林道事業による**林道の開設、改良、舗装**を実施したほか、造林事業による**森林作業道を整備**しました。

林道の整備・保全延長累計 63.9km（2024年度13.2km）（全県）

【農林基盤局森林保全課、森林保全課森と緑づくり推進室】

コラム【森林クレジットの活用・促進について】

流域一体でカーボンニュートラルの実現をめざす「矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト」における取組の一つとして、県有林において森林クレジット創出・販売の実証事業を実施しました。本事業は、全国的に森林由来のクレジット創出の機運が高まる中、県内では活用された事例がほとんどなかったため、県有林での取組を通じて普及・啓発を行い、民間事業者へ広げていくことを目的としています。

1. 森林クレジットについて

森林クレジットとは、間伐など森林の適切な管理を行うことによるCO₂吸収量をクレジットとして国が認証したものです。企業等は、購入したクレジットをカーボンオフセット等に活用することができます。また、クレジットの販売収益を活用して、更に森林整備が進むことから、クレジットの購入は水源かん養や地球環境保全など、森林の持つ公益的機能の維持に繋がります。

2. 事業地について

県有林の面積は約6,000haで、県内に17か所あり、木材生産、水源かん養、山地災害防止、二酸化炭素の吸収、レクリエーションの場の提供など重要な役割を担っています。そのうち、豊田市内にある牛地県有林(旧旭町)と怒田沢県有林(旧足助町)の約1,000haにおいて森林クレジットの実証事業に取り組みました。

3. 森林クレジットの創出・販売について

2024年10月、県内で初めてJ-クレジット制度を活用した森林クレジットを484t-CO₂創出し、このうち200t-CO₂を下表のとおり販売しました。

2025年度以降も継続して、森林クレジットの創出・販売を行う予定です。

購入者(所在地)	購入量
(株)地域創生Coデザイン研究所 (大阪府)	2t-CO ₂
(株)トーカイエコボード (名古屋市)	5t-CO ₂
雪印メグミルク(株) (東京都)	30t-CO ₂
非公表(2件)	163t-CO ₂
計	200t-CO ₂



クレジット購入者及び購入量(2024年度)

牛地県有林の様子

※県有林における取組の詳細は、県webページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/kenyurin-jcredit.html>)



<農業施設の整備・更新や長寿命化の推進>

- ・農業農村多面的機能支払事業により、農業水利施設、農道等の補修や更新等を行う長寿命化活動への支援を実施しました。

実績：898ha（豊田市、新城市、設楽町、東栄町）

【農林基盤局農地計画課】

- ・用水路や排水路などの農業生産基盤の整備を実施しました。

地区数：8地区（豊田市、新城市、設楽町）

【農林基盤局農地整備課】



<河川漁場が有する多面的機能の維持に関する取組>

- ・内水面漁場の多面的機能発揮に資するため、漁業者や地域住民で構成される活動組織が実施する河川清掃等の活動を支援しました。

6活動組織（豊田市、新城市、設楽町、豊根村）

【農業水産局水産課】

- ・地元河川がもたらす豊かな恵みに関する理解促進を図るため、健全なアユ種苗の生産を行うとともに、小学生等を対象に、アユの体験放流・学習会を行いました。

あゆ種苗生産実績：80万尾

体験放流・学習会

：計21回、参加者557人



【農業水産局水産課】

◆鳥獣害対策の推進

<鳥獣害対策に係る施設の整備や捕獲活動に対する支援>

- ・植栽木をシカやウサギ等の食害から保護する獣害防止柵等の設置に対し、支援等を行いました。

支援件数：25件（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村）

【農林基盤局林務課あいちの木活用推進室】

- ・市町村が行う総合的・計画的な鳥獣害対策に支援を行いました（鳥獣被害防止総合対策事業・山村地域鳥獣被害防止対策事業）。

- 1 鳥獣被害防止総合対策事業

実績：277,735千円（うち三河山間地域：225,008千円）

- 2 山村地域鳥獣被害防止対策事業

実績：5,228千円

【農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室】

- ・指定管理鳥獣捕獲等事業の実施や狩猟期間の延長など、**第二種特定鳥獣管理計画を推進**することで、鳥獣の適切な個体群管理の実施等を行いました。

【環境局自然環境課・農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室】

<捕獲の担い手確保に係る取組>

- ・狩猟免許試験、狩猟免許更新検査を**三河地域でも開催**するとともに、**狩猟者の育成及び確保についてのセミナー**を開催しました。

狩猟免許試験 刈谷市（2回）

狩猟免許更新検査 豊橋市等（8回）

セミナー 豊田市（1回）

【免許試験、免許更新検査：環境局自然環境課、

セミナー：環境局自然環境課・農業水産局農業振興課】

<ヤマビル被害防止への取組>

- ・自治体・森林組合に対し、ヤマビル被害防止に係る物品購入の支援制度の周知など**ヤマビル被害防止対策の普及啓発**を実施しました。

【農林基盤局林務課】

◆子育て支援の充実や教育環境の整備

<市町村の教育活動への支援>

- ・「ふるさと出会いの創造」推進事業として、「学びの場」「交流の場」「体験の場」を設定し、地域や県内の教育資源（人・もの・こと）と出会い、共に学習したり、活動したりする取組を支援しました。また、過疎地域で運行するスクールバスの運営に対する補助を実施しました。（へき地教育振興費補助金）

「ふるさと出会いの創造」事業補助対象市町村：

岡崎市、豊田市、新城市、東栄町、豊根村を含む6市町村

スクールバス運営費補助対象市町村：

設楽町

【教育委員会義務教育課】

- ・地域に根ざした地域固有の特色ある教育環境を充実するため、新任者研修、新任校長研修、特別支援学級初心者研修等の教員の研修を東三河地域で独自に開催しました。

【教育委員会義務教育課】

<連携型中高一貫教育>

- ・田口高校、新城有教館高校作手校舎と設楽中学校、東栄中学校、豊根中学校及び作手中学校との間で、故郷への愛情と誇りを育むふるさと交流活動（お仕事フェア、芸術展覧会交流、中高交流授業）等を行いました（三河山間地域連携教育推進事業）。

お仕事フェア：2024年5月20日、参加者数：129名

芸術展覧会交流：2024年10月26日～11月6日

【教育委員会高等学校教育課】

- ・東三河地域での若年層の定着を図るため、地域の魅力のホームページ発信、教員の校種間交流の促進など東三河小中高特連携教育推進事業を実施しました。

【教育委員会義務教育課】

<GIGAスクール構想の更なる加速・強化>

- ・県立学校において、配備した児童生徒用端末の修繕やネットワークの更新を行いました。

【教育委員会ICT教育推進課】

- ・子育て応援の日（はぐみんデー）普及推進強化月間における「はぐみんデー」普及のためのイベント開催や、街頭啓発活動の実施、「はぐみんカード」の普及拡大のため「あいちはぐみんネット」等を活用した情報発信など広報活動を実施しました。

【福祉局子育て支援課】

- ・子ども・子育て支援新制度に基づき、小規模保育等への地域型保育給付を実施したほか、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、一時預かり事業等の取組への助成を行いました。

放課後児童クラブへの助成実績

※ 放課後児童クラブは、共働き家庭などの児童（小学生）に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。

放課後児童クラブ運営費補助箇所：1,648 箇所

（うち岡崎市:84 箇所、豊田市:109 箇所、新城市:18 箇所、東栄町:1 箇所）

【福祉局子育て支援課】

- ・ひとり親家庭や寡婦の方の自立支援として、母子・父子自立支援員による相談支援を実施したほか、母子家庭等就業支援センター事業における就業支援の実施、児童扶養手当、愛知県遺児手当を支給しました。

【福祉局児童家庭課】

- ・第3子以降の満3歳児の保育料を無料化又は軽減する市町村への補助や、私立幼稚園の第三子以降の満3歳児の授業料等の無償化を行うことにより、育児と就労の両立支援を図りました。

【保育料：福祉局子育て支援課】

私立幼稚園：県民文化局学事振興課】

◆住民の生活を支える質の高い医療等を受けられる体制の確保

＜へき地医療施設の整備、医師等医療従事者の確保＞

- ・へき地における医療施設を整備するため、へき地診療所設備の整備にかかる費用の補助を行いました。

へき地診療所設備整備補助	豊田市立乙ヶ林診療所	896 千円
	岡崎市額田北部診療所	999 千円

【保健医療局医務課地域医療支援室】

- ・へき地の医療確保を目的に、へき地医療拠点病院[※]がへき地診療所に行く医師派遣等の調整支援や経費を支援しました。

調整支援件数：94件（96.9%）

へき地医療拠点病院への助成金額

愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院	1,380 千円
新城市民病院	3,747 千円
豊川市民病院	3 千円
豊橋市民病院	141 千円
岡崎市民病院	1,680 千円

※ 病院自体は山村振興法適用地域に無くとも、法適用地域に所在するへき地診療所への支援を各拠点病院が行っており、それに対しての助成を行っている。

【保健医療局医務課地域医療支援室】

<緊急医療等の取組>

- ・小児の二次救急医療体制の確保や、ドクターヘリの運航に対する財政支援を行ったほか、救急医療情報システムの運営を行いました。

【保健医療局医務課】

<へき地診療所の運営への支援>

- ・へき地の診療所の運営に対し、補助を行いました。

豊田市立乙ヶ林診療所	1,431 千円
豊根村診療所	2,915 千円
設楽町つぐ診療所	9,466 千円

【保健医療局医務課地域医療支援室】

<健康づくり、介護サービス基盤の充実>

- ・へき地保健栄養指導、へき地歯科保健医療検討会議及び市町村の保健師・栄養士・歯科衛生士等を対象とした研修会を実施しました。

研修：4回、会議：5回、相談、指導：4回

【保健医療局健康対策課】

- ・介護分野においては、利用者の負担額を軽減させるため**特別地域加算に係る利用者負担額軽減措置事業**を実施したほか**特別養護老人ホーム**を始めとした**施設サービスの計画的な整備支援**を実施するとともに、介護従事者向けの**メンタルヘルス研修**を**三河山間地域**においても**実施**しました。

【福祉局高齢福祉課】

＜グループホーム等の整備及び世話人等の確保＞

- ・グループホームの整備のため、**社会福祉施設等施設整備費補助金**を実施したほか、グループホームの世話人の確保のための**キャラバン**や**体験事業**を実施しました。

施設整備費補助金 ： 6 件（全県）

キャラバン（セミナー）：開催回数 26 回（うち三河山間地域 2 回）

参加者数 66 人（うち三河山間地域 1 人）

体験事業（仕事の体験）：参加者数 10 人（全県）

【福祉局障害福祉課】

◆女性の活躍促進

＜企業の取組支援や企業経営者等の意識改革を図る取組＞

- ・企業における**女性の活躍促進**のために、企業に**女性の活躍促進宣言**の提出を促したほか、「**あいち女性輝きカンパニー**」の認証、**女性の活躍コーディネーター**の派遣を通じた取組支援、**あいち女性の活躍促進サミット**を開催しました。また、中小企業等に対しては、**女性の活躍プロモーションリーダー**と連携し**女性の活躍**に係る取組を促しました。また、パンフレットの作成、配布や、「**あいち女性の活躍促進応援サイト**」を通じて**女性の活躍企業の魅力**を発信するとともに、キャリアプラン早期育成による**進路・職業選択の支援**、**中小企業における女性活躍の推進**、**女子大学生への女性活躍推進企業のPR**を実施しました。

【県民文化局男女共同参画推進課】

- ・女性起業家育成・促進プログラム「ヒトハナ」の実施により、**女性起業家の事業の本格的拡大の支援**や、**女性の起業を支援するセミナー等**の開催、**県内の女性起業家・支援機関等のコミュニティ形成**の促進を図りました。

事業の本格的拡大支援：参加者 10 名、8～3 月実施

起業支援セミナー・ワークショップ：5 回

コミュニティ形成の促進：コミュニティ形成イベント 2 回

愛知県の女性起業家育成・促進事業OG交流会の開催：1 回

【経済産業局産業政策課】

- ・あいち人権センターにおいて、「**女性の人権**」をテーマとした企画展及び講演会を実施しました。また、人権啓発キャラバン 2024 において「**女性の人権**」をテーマにした**事例発表及びワークショップ**を開催しました。

【県民文化局人権推進課】

柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

- ・ 高齢化による地域の担い手不足が進む中で、首都圏等都市部在住者の地方への関心が高まっている状況を活かし、都市部在住者の移住や関係人口の創出・拡大により、都市との絆を深めます。
- ・ 地域に根差した教育環境を整備することで、将来的な地域の担い手を育成します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2024年度）	目標値（2025年度）
外部人材の交流支援数（累計）	【達成】24件	15件
移住者数（累計）	916人	1,000人
移住相談者数	349件	500件
地域協働を行う県立高校数	2校	2校

（2024年度の主な取組）

◆外部人材を受け入れることができる地域づくり

<愛知県交流居住センターを通じた取組>

- ・ 愛知県交流居住センターを通じて、外部人材を求める地域の事業者と地域外にいる兼業・副業・プロボノ人材とのマッチング支援を行いました。

※愛知県交流居住センターは、愛知県、三河山間地域6市町村等が会員となり、同地域における交流居住及び移住定住を支援する組織。

※プロボノは、社会人が仕事を通して培った専門知識や技能を生かし、参加する社会貢献活動。

兼業・副業・プロボノ人材のマッチング支援件数：3件

【総務局市町村課地域振興室】

<集落支援の取組>

- ・ 三河山間地域における移住や起業、集落支援等の企画・運営を行う拠点として、**三河の山里サポートデスクを新城市湯谷温泉地区（カフェ&ゲストハウスHooHoo! 内）に設置・運営**しました。

新規起業者：9名

集落支援

新城市黄柳野地区(草刈り、さつまいも収穫体験等)：年9回、参加者16名

【総務局市町村課地域振興室】

- ・げんき商店街推進事業費補助金により、市町村や商店街組合等が行う商店街活性化に向けた取組支援を実施しました。

三河山間地域における補助実績

補助市町村：豊田市（旧足助町、稲武町、旭町、下山村等）、新城市、設楽町、東栄町

補助金額：82,279千円（事業数：6）

【経済産業局商業流通課】

◆首都圏等での移住相談窓口機能の設置

<山間地域のPRに係る取組>

- ・三河の山里サポートデスクを設置し、WEBサイトやSNSを活用して移住、定住、起業、就業等の情報を提供しました。

起業等に関する相談・問い合わせ：27件

【総務局市町村課地域振興室】

- ・「あいちの山里時間」のWEBサイトやSNSを活用した情報発信を行うとともに、有名な雑誌への「あいちの山里時間」の掲載や、インフルエンサーによる情報発信を行いました。

【総務局市町村課地域振興室】

<移住相談の機能強化や就労支援等の取組>

- ・ふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）に移住相談窓口「愛に行こう！あいち移住・定住相談センター」を設置し、愛知県専属の移住相談員が、本県への移住に関する相談対応を行いました。

※ふるさと回帰支援センター：

都市と地方の交流・移住・定住を支えるNPO団体。

窓口での相談件数：220件

【総務局市町村課地域振興室】



・おいでや！いなか暮らしフェア 2024、ふるさと回帰フェア 2024 及びJOIN移住・交流&地域おこしフェア 2024 へ出展し、「あいちの山里・離島」への移住定住に関する相談対応を行いました。

1 おいでや！いなか暮らしフェア 2024 への出展
(2024年7月20日)

来場者数 : 2,469人 (愛知県ブース : 25件)

2 ふるさと回帰フェア 2024 への出展 (2024年9月21日、22日)

来場者数 : 9月21日 16,800人 (愛知県ブース : 29名)

9月22日 12,000人 (愛知県ブース : 23名)

2 JOIN移住・交流&地域おこしフェア 2024 (2024年12月7日)

来場者数 12月7日 : 1,732人 (愛知県ブース : 20名)

【総務局市町村課地域振興室】



・三河山間地域を含む「あいちの山里・離島」の、移住先としての認知度を向上させるためのセミナーをふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）及び大阪ふるさと暮らし情報センター（大阪府中央区）と共催で開催しました。

開催日・参加者数 :

(東京開催) 2024年10月4日・5名、11月2日・4名、12月21日・7名

2025年1月18日・9名

(大阪開催) 2024年8月24日・7名、11月16日・5名

【総務局市町村課地域振興室】

・三河山間地域を含む「あいちの山里・離島」地域での暮らしを体感していただくツアーを開催しました。

開催日・参加者数 : 2025年2月15日~16日・5名

【総務局市町村課地域振興室】

・あいちUIJターン支援センターの設置・運営を行い、首都圏等からのUIJターン希望者に対し、個別相談を行うほか、県内企業の求人情報や地域情報の提供により、本県への転入・就職を支援しました。

就職決定者数 : 75名 (岡崎市3名、豊田市1名を含む)

【労働局就業促進課】

◆オンラインでの情報発信の強化・充実

＜三河山間地域ならではの情報発信＞

- ・大都市圏（東京圏及び近畿圏）に対し、三河山間地域を含む「あいちの山里・離島」のPRの際に、**キービジュアル**を活用した**情報発信**を実施しました。

※ キービジュアルは、ロゴやシンボルマーク、キャッチコピー等を組み合わせて作られ、ウェブサイトや紙媒体において、メインとなるイメージ画像。

【総務局市町村課地域振興室】



- ・「あいちの山里時間」WEBサイトを活用し情報発信を行うとともに、各種SNSにも「あいちの山里時間」のページを開設するとともに、**有名な雑誌への「あいちの山里時間」の掲載**や、インフルエンサーによる情報発信を行いました。

【総務局市町村課地域振興室】（再掲）

＜関係人口の創出や移住促進への取組＞

- ・東三河地域に新たな魅力と価値を創造するため、東京圏や名古屋圏といった大都市の企業や個人と東三河地域とをコーディネートする機能の設置や移住パンフレットの作成、移住イベントへの出展や移住ポータルサイトの運用などにより、**大都市からの新たな関係人口の創出と、移住・定住を促進する取組**を実施しました。

【東三河総局企画調整課】

- ・愛知県交流居住センターにおいて、農産物の定植、収穫等の**地元集落との交流イベント**を実施しました。

交流イベント実施地区・参加者数：東栄町古戸地区（4回）・延べ32名

【総務局市町村課地域振興室】

◆将来的な地域の担い手・関係人口づくり

＜地元の魅力の再発見や関心を高めるための取組＞

- ・東三河地域の各小学校の4年生を対象として、地域の魅力を伝える啓発資材パンフレット「東三河魅力発見ノート」の作成・配布を実施しました。

東三河地域の各小学校4年生（特別支援学校含む。）への配布学校数
：132校（計9,102部）

東三河8市町村への配布部数：340部

【東三河総局企画調整課】



- ・愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点[※]を運営し、企業訪問等により企業が抱える経営課題を明確化したうえで、課題を解決できるプロフェッショナル人材の獲得をサポートしました。

相談件数：405件（うち三河山間地域：22件）

成約件数：85件（うち三河山間地域：7件）

【労働局就業促進課】

- ・将来における就業のきっかけとなるよう奥三河の3種類の地域資源やそれに関わる18事業者を動画や写真、クイズを用いて効果的に紹介する電子教材を児童・生徒向けに作成し、新城設楽振興事務所の公式webサイトに公開しました。（2025年1月17日公開）

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河地域の人々との多様な関わりを促進するため、専門的・実践的な関係人口創出セミナーを実施しました。

関係人口創出セミナー

- ① イベントホームステイ（イベント民泊）を活用した関係人口づくり

日 程：2024年9月19日（木）

場 所：新城文化会館

参加者：27名

- ② 移住者受け入れで地域は蘇る～空き家から地域に灯りを～

日 程：2025年1月30日（木）

場 所：市民センターほうらい

参加者：32名

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河で活躍する女性の参画を得ながら、**奥三河サポーターミーティング**を開催し、若年層を主な対象とした関係人口創出に向けた取組としてクリスマスマーケットを実施した他、**奥三河DMOの広報戦略案**を作成しました。

※奥三河DMO：（一社）奥三河観光協議会が、愛知県初の日本版DMO（観光地域づくり法人。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人）として2018年3月30日に登録された。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

◆県立高等学校の魅力化

<特色あるコースの設置>

- ・田口高校では、**自然探究コース**において地域にある様々な資源を活用しながら地域の課題解決に取り組む探究的な活動を実施したほか、**足助高校**においては、**観光ビジネスコース**において、足助地区だけでなく豊田市の山村地域の活性化も視野に入れながら、豊田市とも連携して、足助を知る・足助を知ってもらうための探究活動を実施しました。
- ・田口高校、新城有教館高校、新城有教館作手校舎の生徒及び教員と地元の企業との懇談会を実施することで、地元の魅力を発見しました。



産学連携地域活性化事業（生徒・企業）



産学連携地域活性化事業
（教員・企業）

【教育委員会高等学校教育課】

＜地域との連携＞

- ・田口高校、足助高校及び加茂丘高校は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む**コミュニティ・スクール**として、学校運営協議会を開催し、地域住民の参画による教育課程の充実を図りました。

【教育委員会あいちの学び推進課、高等学校教育課】

- ・田口高校、新城有教館高校作手校舎と設楽中学校、東栄中学校、豊根中学校及び作手中学校との間で、故郷への愛情と誇りを育むふるさと交流活動（お仕事フェア、芸術展覧会交流、中高交流授業）等を行いました（**三河山間地域連携教育推進事業**）。

お仕事フェア：2024年5月20日、参加者数：129名

芸術展覧会交流：2024年10月26日～11月6日

【教育委員会高等学校教育課】（再掲）

- ・田口高校林業科において、スマート林業の担い手を育成するために、**ドローンの実技講習**や**高性能林業機械ハーベスタのシミュレータ体験**といった林業イノベーションにつながる学習を実施しました。



ドローンの実技講習



高性能林業機械ハーベスタのシミュレータ体験

【教育委員会高等学校教育課】

柱3 なりわいを育てる

- ・ 高齢化による廃業が進むことによる地域経済の縮小を防ぐため、事業承継や移住者による継業を推進するとともに、U I J ターンをされた方の定住を支援します。
- ・ 地場産業である農林水産業等の担い手の確保や、地域に必要な「なりわい」の担い手を育てます。

<進捗管理指標>

指標名	実績値 (2024 年度)	目標値 (2025 年度)
就業支援者数 (累計)	【達成】 53 人	50 人
新規就農者数 (累計)	46 人	85 人
新規林業就業者数 (累計)	159 人	200 人
サテライトオフィス整備支援数 (累計)	【達成】 9 施設	9 施設

(2024 年度の主な取組)

◆なりわいを生み出す拠点 (サテライトオフィス) の設置

- ・ 三河山間地域の魅力を情報発信しているWEBサイト「あいちの山里時間」において、サテライトオフィスとして必要な環境があり、ワーケーションが実施可能な施設を掲載し、訪れやすい地域づくりを進めました。

【総務局市町村課地域振興室】

◆既存組織との連携によるなりわい支援の仕組みづくり

<商工会や農業協同組合等との連携による新規起業者や就農者等への支援>

- ・ 中小企業・創業者の事業活動の促進を図るため、市町村や金融機関と連携して、制度融資による金融支援を実施したほか、小規模事業者の経営改善を図るため、商工会による経営支援を行いました。

商工会による経営支援件数：約 7,500 件

(商工会：岡崎市 (額田)、豊田市 (藤岡、小原、足助、下山、旭、稲武)、
新城市、設楽町 (設楽、津具)、東栄町、豊根村)

【経済産業局中小企業金融課】

- ・ 県農業大学校において、農業に関する基礎知識等の研修を実施しました。

研修内容：ニューファーマーズ研修、
農業者育成支援研修、農業技術研修

参加者：合計 56 名

ニューファーマーズ研修は、就農希望者等を対象に座学と実習を行い、実習については農業協同組合や先進農家等と連携して実施しました。

【農業水産局農業経営課】



ニューファーマーズ研修の様子

◆農林水産業の担い手確保・育成

＜補助事業や制度資金の利活用、経営管理や技術指導＞

- ・ 平坦地に比べ、自然的・経済的・社会的条件の不利な山間地等を対象に、農林漁業の経営近代化、農林漁業資源の活用等を通じて、山間地等における営農等の振興を図るため、**山間地営農等振興事業**を実施したほか、条件不利地域での営農を支援し、農業生産の維持を通じて、多面的機能の確保を図るため、**中山間地域等直接支払制度**を実施しました。

山間地営農等振興事業： 45,000 千円

中山間地域等直接支払：167,429 千円

【農業水産局農業振興課】

- ・ 経営の発展段階に応じた**経営管理や技術指導**のほか、集落営農の組織化・法人化への誘導、地域の生産組織等への指導のため、**専門家による経営相談**を実施しました。

農林水産事務所農業改良普及課における相談件数

西三河：延べ1件（三河山間地域分）

豊田加茂：延べ1件（三河山間地域分）

新城設楽：延べ5件

【農業水産局農業経営課】

<農起業支援センターにおける企業やNPOなどの農業参入や就農希望者への支援>

※農起業支援センター・・・就農及び企業等の参入への相談等に対応するために、各農林水産事務所の農業改良普及課等に設置された機関のこと。

- ・企業やNPOからの**農業参入に関する相談**のほか、**新規就農希望者に対する就農相談**や、**就農に関する情報提供等**、円滑な就農に向けた支援を実施しました。

農林水産事務所農業改良普及課における相談件数

西三河：参入 延べ4件 新規就農 延べ64件 ※管内全体数

豊田加茂：参入 延べ1件 新規就農 延べ33件 ※管内全体数

新城設楽：参入 延べ5件、新規就農 延べ68件

【農業水産局農業経営課】

- ・県農業大学校において、**農業に関する基礎知識等の研修**を実施しました。

研修内容：ニューファーマーズ研修、農業者育成研修、農業技術研修

参加者：合計56名

【農業水産局農業経営課】（再掲）

- ・**新品種や新技術の開発・普及**を行うとともに、**多様な担い手の確保・育成**を行いました。

新品種：エゴマ「No. 7」など2品種

新技術：名古屋コーチン卵用新系統[NGY6]の開発など8技術

新規就農者：西三河1名、豊田加茂2名、新城設楽8名



新品種：エゴマ「No. 7」

【農業水産局農業経営課】

<森林・林業の魅力発信や林業への就業相談、計画的かつ体系的な研修の実施>

- ・愛知県林業労働力確保支援センター等と連携した**就業相談活動**や**研修事業等**を実施したほか、森林組合の経営基盤の強化に向けた指導を随時実施するとともに、意欲と能力のある**林業経営体の育成**、**新規就業者への支援**を実施しました。

※ 愛知県林業労働力確保支援センターは、公益財団法人愛知県林業振興基金に委託し、新規に林業に就業した方々をサポートする総合窓口

就業相談活動：5回

林業従事者研修：70日開催、延べ470名参加

育成した林業経営体：17者

支援した新規就業者：4名

【農林基盤局林務課】

＜水産業の技術支援や経営の安定化に向けた支援＞

- ・水産試験場において養殖業者に対し巡回指導を実施したほか、漁業近代化資金を融資した融資機関に対する利子補給に加え、県資金を融資機関に預託し、融資機関から漁業者に対する漁業振興資金の貸付を実施しました。

巡回指導：7件

貸付件数：1件

【農業水産局水産課】

＜人材育成に向けた教育の充実、多様な農業の担い手確保＞

- ・県農業大学校において、ICT温室での環境制御生産技術の習得支援やスマート農業技術に関する授業を実施しました。

施設野菜専攻：27人



【農業水産局農業経営課】

- ・林業関係高校生に対し、林業に係る体験講座を開催しました。

開催回数、参加者数：6回、122人

講座内容

：林業現地見学、高性能林業機械の操作体験等



【農林基盤局林務課】

- ・農業と他の仕事を組み合わせた働き方である半農半Xについて、Web サイトにて実践者の情報、受入に前向きな市町村の各種支援制度を発信

実践者の事例情報を県HPに掲載 11名

【農業水産局農業振興課】

- ・県及び人口問題対策が特に必要な地区のある市町村が、人口問題の現状や課題を共有するとともに、連携・協力して、当該地区の実情に応じた人口問題対策を検討するため設置された「**愛知県・市町村人口問題対策検討会議**」のなかに「**農林水産業振興ワーキンググループ**」を設置し、農林水産業の担い手に関する現状や課題の把握や、今後の取組について検討しました。

人口問題対策が特に必要な地区を有する市町村：

岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村を始めとする県内 11 市町村
【政策企画局地方創生課・農業水産局農政課】

- ・農林水産物等を活用し新たな事業や商品開発に取り組む農林漁業者等に対し、**愛知県 6 次産業化サポートセンター**による支援を行いました。

※愛知県 6 次産業化サポートセンターは、農山漁村の豊かな地域資源を有効活用した取組を行う農林漁業者等の経営改善や経営全体の付加価値向上を支援する相談窓口であり、プランナー派遣等による個別相談を行っている。

※プランナーは、愛知県 6 次産業化サポートセンターに登録された、農業全般・加工・流通・経営管理等の分野に知見を有する民間の専門家。

プランナー派遣回数：延べ 139 回

うち三河山村地域への派遣回数：延べ 2 回（設楽町）

人材育成研修会の開催：18 回、合計 310 人が受講

【農業水産局食育消費流通課】

◆農林水産業の競争力向上

<「地域ブランド」の確立と販路の拡大>

- ・首都圏等において、トップセールスの実施等により、愛知県産農産物の重点販売を行う農産物フェアを開催しました。

実施期間：2025年2月8日

実施場所

：イオンスタイル板橋始め10店舗

(イオンスタイル板橋店において、知事による県産農産物のPRを実施)



知事による県産農産物のPR
(イオンスタイル板橋店)



農産物フェア

【農業水産局食育消費流通課】

- ・県産水産物の知名度向上を図るため、SNS、雑誌、各種行事等で県産水産物のPRを行ったほか、授業で水産業について学ぶ機会のある県内全ての小学5年生を対象に、教材として「水産業のパンフレット」と「下敷き」を配布しました。



各種行事等で県産水産物のPR (お魚カード釣り)

【農業水産局水産課】

- ・県内の全ての公立小中学校等において「愛知を食べる学校給食の日」を実施することで地場産品のPRを図ったほか、地場産品を取り入れた「あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」を開催しました。

【教育委員会保健体育課】

＜スマート林業の推進、エリートツリーの普及、木材利用の促進＞

- ・県、市町村、林業経営体が森林に関する情報を相互に利用できる**森林クラウドシステム**について、**本格運用を開始したほか、スマート林業ツールの導入を支援**（3件）するとともに、**木材加工施設の整備を支援**しました。

【農林基盤局林務課】

- ・エリートツリーなどの**種苗生産技術や育林技術等の研究**を行いました。

※ エリートツリー：各地の山で選抜された**精英樹（第1世代）**の中でも、特に優れたものを交配した苗木の中から選ばれた、**第2世代以降の精英樹の総称**。成長が早いうえ、通直性等に優れ、さらに愛知県に導入している系統については花粉が少ないという特徴を持つ。

【農林基盤局林務課】

- ・「木材利用の促進に関する基本計画」に基づき、**県産木材を利用したPR効果の高い建築物等への支援**や外国産木材に依存している横架材の**県産木材への転換**を促進しました。

【農林基盤局林務課あいちの木活用推進室】

- ・「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術」を組み合わせた**新たな栽培体系への転換を推進**しました。

実証1地区（豊田市下山地区：シクラメンの赤色LED照射によるアザミウマ類防除）



【農業水産局農業経営課】

- ・用水路や排水路などの**農業生産基盤整備**を実施しました。

地区数：8地区（豊田市、新城市、設楽町）

【農林基盤局農地整備課】（再掲）

- ・ あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金の農商工連携枠について、2件採択されました。

【経済産業局産業振興課】

◆地域を超えた人材のネットワーク化

- ・ 起業等により地域課題解決に挑戦するあいちの山里アントレワーク実践者を募集し、採用された実践者(9名)に起業プランの実現に向けた支援を行いました。

氏名	拠点市町村・地区	事業概要
あいばりょうた 相羽涼汰	岡崎市 ・額田地区	漆の商品開発と栽培
くまもと 熊本ゆう子	豊田市 ・旭地区	家族向け農泊と親子の集う「もう一つのふるさと」づくり
しらいみきと 白井美里	東栄町	田舎と関わり、広がる経験 副業したい×働き手が欲しいをマッチング
はしづめきょうすけ 橋爪杏介	新城市	田舎の古民家DIYリフォーム(再生)
ふじたただし 藤田忠志	東栄町	奥三河の食材を使用した出張BBQ
ブーススペイン 真理	東栄町	コミュニティ主導の古民家再生プロジェクトによるあいちの山里再生
みやもとあきこ 宮本晃子	豊田市 ・足助地区	地域の拠り所、あのねの保健室、介護保険外サービス事業
やまさきひろかつ 山崎大勝	新城市	つくで高原の豊かな自然をツーリズムで全国区へ
やまもとはやた 山本颯太	新城市	「鳳来の自然とともに」次世代人材育成のための企業向けアウトドア研修

※アントレワークは、アントレプレナー(起業家)とワーク(仕事)を合わせた造語。



【総務局市町村課地域振興室】

- ・あいちの山里アントレワーク実践者育成に連動し、三河山間地域でのなりわいネットワーク構築を図るため、奥三河地区において、商工会・金融機関等といった方による検討会を構成し、支援体制強化にむけた議論を行いました。

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域産業の事業支援や円滑な事業承継

＜産業振興に関する総合的な支援、事業承継の促進＞

- ・産業空洞化対策減税基金に基づく立地補助金を活用した支援、産業立地促進税制による不動産取得税の減額・免除を行うとともに、産業立地サポートステーションによる企業訪問や県内市町村との合同企業訪問を実施したほか、各種セミナー・イベントを開催しました。

産業立地サポートステーションによる企業訪問：569回（全県）

共同企業訪問を行った市町村：27市町村（三河山間地域内：2市8件）

セミナー、イベント開催回数、参加者数：計3回、計495名

【経済産業局産業立地通商課】

- ・企業のニーズや動向に適応した用地開発の推進を目的として、開発を検討している市からの相談に対応したほか、開発に向けた諸課題を整理し、市の開発検討をサポートしました。

【企業庁工務調整課】

- ・事業継承について、（公財）あいち産業振興機構による後継者育成塾や、専門家の派遣を通じた支援を実施しました。

後継者育成塾参加者数：170名（全県）

専門家派遣件数：12件

【経済産業局中小企業金融課】

＜「愛知県交流居住センター」による継業事業等＞

- ・新たな林業の担い手の確保・育成を目的に、森林・林業に関心を持つ方や就業を考えている方を対象にした森林の仕事エリアガイダンスに、「愛知県交流居住センター」が相談ブースを出展し、移住・定住の側面から就林希望者の相談に応じました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・「愛知県交流居住センター」において、三河山間地域の中小企業・小規模事業者に対し、都市部で活躍する外部人材を「兼業・副業・プロボノ」という形で支援者を送り込む**あいちの山里ふるさと兼業事業**を実施しました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・**あいちUIJターン支援センター**の設置・運営を行い、首都圏等からのUIJターン希望者に対し、個別相談を行うほか、県内企業の求人情報や地域情報の提供により、本県への転入・就職を支援しました。

就職決定者数：75名（岡崎市3名、豊田市1名を含む）

【労働局就業促進課】（再掲）

柱4 地域資源のさらなる磨き上げ

- ・ リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通や設楽ダム completionを見据え、地域に数ある道の駅を核とし、県や市町村の境界を越えた広域観光ネットワークを構築します。
- ・ 歴史、産業、自然、文化、スポーツなど、それぞれの地域に根差した地域資源をテーマごとに深掘りした上で、広域的な連携に取り組みます。
- ・ 旅行者の誘客強化に向けて、人材育成や多言語表記など受入体制の拡充を図ります。

<進捗管理指標>

指標名	実績値 (2024 年度)	目標値 (2025 年度)
観光レクリエーション利用者数	658 万人	660 万人
愛知産ジビエを活用した新商品数 (累計)	【達成】 7 商品	5 商品
スポーツ大会数	7 大会	5 大会

(2024 年度の主な取組)

◆人やストーリーに着目した情報発信方法の強化・充実

- ・ あいちの山里関係人口拡大事業において、Instagram などの SNS を活用し、効果的な情報発信を実施するとともに、インフルエンサーによる地域資源の PR を実施しました。また、地域の小学生を対象に Instagram 活用セミナーを実施するとともに、地域資源の再考を行うことで、地域に愛着を持って情報発信を行うための仕掛けづくりを実施しました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・ 地域の特産品について、「食と花の街道」、「都市農村交流ガイド」などの Web サイトや、SNS を活用して情報発信するとともに、食と花の街道の PR の場を提供しました。

【農業水産局農業振興課】

- ・歴史、産業、自然、文化、食などの地域資源を、地域の関係者とともに観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト（旅ろっ！愛知）を通して情報発信等を行いました。また、バス事業者と連携し、地域資源を組み合わせたツアーを実施しました。



【三河山間地域を対象としたツアー】

コースツアー名	主な対象地区	出発日	実績
自然を満喫！男川やなで鮎つかみ取りぶどう狩り	岡崎市	8/6(火)	44人
日本の山里「田峯地区」散策と鳳来寺特別拝観	新城市、設楽町	10/5(土)	40人
小原四季桜と愛知の伝統文化を訪ねる旅	豊田市	11/16(土)	40人
東栄町 国重要無形文化財「花祭」月地区の花祭を知って見て体験！	東栄町、新城市	11/23(土)	39人

【観光コンベンション局観光振興課】

- ・奥三河の「多彩な美」に関する魅力創造・発信のため、SNSを用いて情報発信をするとともに、奥三河の商品や体験プログラム等を紹介したカタログ「okumikawAttract」を作成しました。

- ① SNSを用いた情報発信：投稿件数 64 件
- ② 「okumikawAttract」作成：11,000 部



【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・県営名古屋空港に設置したアンテナショップ「まるっと！あいち」において、三河山間地域から寄せられる特産品を販売することで、特産品のPRを行うとともに、販路拡大を行いました。

【経済産業局中小企業金融課】

- ・愛知県公式観光ウェブサイト「Aichi Now」において、三河山間地域の観光情報について情報発信を行いました。

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】

- ・WEBサイト「キラッと奥三河ナビ」に、宿泊施設の特集ページ「奥三河の多彩な宿特集」を日本語及び英語で作成したほか、奥三河モデルコースの体験動画を8本作成しました。また、奥三河多言語サイト「VISIT OKUMIKAWA」に、奥三河観光に役立つページを作成しました。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

◆市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

<首都圏や近隣県との連携や広域観光の推進への取組>

- ・産業観光、武将観光等の施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施することで、県内の観光資源の魅力発信、及び周遊促進を図りました。

スタンプラリー参画施設数：200 施設

(うち愛知県 100 施設、うち三河山間地域：13 施設)

施設訪問者数：21,063 名



【観光コンベンション局観光振興課】

- ・中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等が協働してインバウンドを推進する「昇龍道プロジェクト」に参画し、広域での誘客に取り組みました。

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】

- ・愛知県東三河地域と静岡県遠州地域で開催されるマラソン大会（対象大会）のそれぞれの記録により獲得するポイントの合計でランキングを競う三遠マラソンシリーズを開催しました。

対象大会：「とよね・みどり湖ハーフマラソン」、「袋井クラウンメロンマラソン」、「新城マラソン大会」、「三河湾健康マラソン大会」

参加者数：157 名

【東三河総局新城設楽振興事務所】

<地域資源の磨き上げ、特定のテーマや異なるテーマの結びつけによるアピール>

- ・「武将」「お城」「街道」のテーマを掛け合わせた歴史観光デジタルスタンプラリーを実施することで、県内の観光資源の魅力発信、および周遊促進を図りました。

パンフレット発行部数：10 万部

ポスター作成部数：1,000 部

ラリースポット対象施設：102 施設

(うち三河山間地域：6 施設)

参加者数：延べ 3,756 人

【観光コンベンション局観光振興課】



- ・ジャパンエコトラックルートを活用し、東三河の観光の重要資源の一つである「美・癒し」とアウトドアスポーツを結びつけたデジタルスタンプラリーを実施しました。(総アクティブログ※数 614)

ジャパンエコトラック：トレッキング・カヌー・自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しみながら旅をするスタイルのこと。

東三河地域は 2021 年 3 月にジャパンエコトラックの認定エリアとなっている。

アクティブログ：公式アプリを利用して、「アクティビティを開始する」ボタンが押された回数。

【東三河総局企画調整課】

- ・モンベルフレンドエリアに登録し、東三河のアウトドアスポーツを始めとする観光情報を、100 万人を超えるモンベルクラブ会員を軸に発信しました。

モンベルフレンドエリア：市町村、地域単位で登録することで、モンベルが提供する各種サービスを優待料金で利用できる他、登録地域の観光、アウトドアフィールドの情報を会報誌・WEB サイトなどによりモンベルクラブ会員へ発信可能。

【東三河総局企画調整課】

- ・第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)では、自転車競技(ロードレース)が新城市を発着とするコースとして予定されていることから、競技に関心の高いサイクリストに対して高い訴求力を持つインフルエンサーを起用した情報発信を行いました。



YouTube 動画配信：2名、各2本
イベント：全5回、計44名参加

【東三河総局企画調整課】

- ・愛知「発酵食文化」振興協議会を設立し、味噌や酒などの愛知の発酵食文化の振興及び国内外への魅力発信を実施しました。

愛知「発酵食文化」振興協議会

設立日：2024年5月1日

構成員：41市町村始め、104名

(三河山間地域の6市町村含む)

実施内容：特設サイト「あいち発酵食めぐり」の開設、キャッチコピー及びロゴマークの制作等

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】



◆地域資源の着地型観光プログラム化の推進

<新たな観光ブランドの活用や、奥三河DMOへの支援>

- ・奥三河の「多彩な美」に関する魅力創造・発信のため、SNSを用いて情報発信をするとともに、奥三河の商品や、体験プログラム等を紹介したカタログ「okumikawAttract」を作成しました。

① SNSを用いた情報発信：投稿件数64件

② 「okumikawAttract」作成：11,000部

【東三河総局新城設楽振興事務所】(再掲)

- ・若年層を主な対象とし関係人口の創出に向けた取組として、新城市文化会館においてクリスマスマーケット「あおのフェスティバル」を実施しました。

出店数：キッチンカー20台、物販12店、ワークショップ10店

来場者数：約1300名

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・奥三河DMOについて、関係機関と連携し、**広報戦略案を作成**しました。

奥三河DMO (Destination Management /Marketing Organization) :

2018年3月30日、愛知県内で初めて日本版DMOとして登録された一般社団法人奥三河観光協議会を指す。なお、日本版DMOとは地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。

【東三河総局新城設楽振興事務所】

＜愛知県多言語コールセンターの運営等による市町村への支援＞

- ・本県を訪れる外国人旅行者の快適な滞在や満足度向上を実現するため、外国人旅行者の問い合わせ対応及び観光関係事業者を対象とする電話通訳サービス等の提供を行う24時間対応の**多言語コールセンターを運営**しました。

【観光コンベンション局国際観光コンベンション課】

- ・奥三河地域の観光事業者等のおもてなし能力を向上させるための取り組みを実施しました。

- ① 宿泊施設の特集サイト「奥三河の多彩な宿特集」を日本語及び英語で作成。
- ② 外国人旅行客向けに奥三河地域を旅行する際に役立つ情報をまとめたページ「USEFUL INFORMATION」を作成。
- ③ 奥三河地域の観光情報を英語及びポルトガル語によりSNSで発信。(40回)

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・森林空間を活用した新たなサービス産業の創出に向けた取組として、獣害対策、林業、地域材活用、スポーツ、リラクゼーションをテーマとした**5つのモデルプランの造成支援やプロモーションを実施**しました。

【東三河総局企画調整課】

＜設楽ダムの情報発信・誘客促進＞

- ・設楽ダムの水源地域に足を運んでもらうきっかけづくりのため、**水源地域交流啓発WEBサイト「とよがわびより」**や「とよがわびよりX（旧 Twitter）」を通じて、季節の情景や、設楽ダム関連工事の進捗、地元開催イベントなどの**情報発信**を行いました。また、設楽ダムの水源地域の振興を図るため、**設楽町が実施する生活基盤整備等に係る事業に対し支援**を実施しました。

【建設局水資源課】

◆伝統文化の継承・発信

＜文化財の修理・記録保存・活用＞

- ・国及び県の指定文化財並びに県の登録文化財のうち、主に建造物、美術工芸品、民俗文化財の保存修理等に係る経費の一部について、**補助金を交付**しました。（文化財保存事業費補助金）

国指定：55 件、県指定：9 件 計 58,036 千円

うち三河山間地域内 国指定：7 件 計 3,940 千円

【県民文化局文化芸術課文化財室】

- ・国の重要無形民俗文化財に指定されている「**花祭**」等、**三河山間地域の貴重な伝統文化を保存・継承**するため、保存団体等からの申請に基づき、伝統文化の振興等に係る経費の一部について**補助金を交付**しました。

月花祭保存会（東栄町）：206 千円

中在家花祭保存会（東栄町）：111 千円

【東三河総局新城設楽振興事務所】

＜伝統文化の魅力の発信、後継者の育成や地域・観光の活性化＞

- ・地域の民俗芸能保存団体を小中学校に招き、民俗芸能を紹介・披露するとともに、小中学生の民俗芸能の体験や、練習及び発表により地域の民俗芸能の担い手育成を実施しました。（**伝統文化出張講座**）

実施校：小学校 5 校（うち三河山間地域 1 校）

【県民文化局文化芸術課文化財室】

- ・「あいち山車まつり日本一協議会」を通じ、山車まつりの保存団体及び山車まつりが所在する市町の相互交流・連携により、山車まつりの魅力を県内外へ広く発信するとともに、**山車まつりの保存・継承及び振興**をはかりました。

- ・「あいち山車まつり日本一協議会」総会・研修会の開催（2024年6月22日）
総会：106名、研修会：82名参加

- ・「日本の祭シンポジウム」開催（2024年9月15日）
100名参加

- ・山車まつり支援アドバイザー相談事業の実施

- ・あいち山車まつりスタンプラリーの実施

足助祭り始め県内30か所にラリーポイントを設置、257名参加

【県民文化局文化芸術課文化財室】

◆愛知産ジビエ等の利用促進

＜「愛知産ジビエ」の消費拡大の取組＞

- ・愛知産シカ肉利用拡大のため、加工品販売のブース出店や、処理加工研修会を実施しました。

1 ブース出店

① ふるさとイッチー祭（名古屋市、2024年10月26～27日）

② げんきの郷（大府市、2024年12月14日）

③ あぐりん村（長久手市、2024年12月15日）

2 シカの処理加工研修会の開催

① 奥三河高原ジビエの森及び設楽町津具基幹集落センター（設楽町、2024年12月6日）

② ジビエ工房めいほう（岐阜県郡上市、2024年12月9日）



あぐりん村でのブース出店の様子

【農業水産局農業振興課】

- ・あいちの山里関係人口拡大事業において、大学生を対象としたフィールドワークにおいて、ジビエ料理を実食するなど、三河山間地域のジビエに関する情報を発信しました。

【総務局市町村課地域振興室】

- ・野生鳥獣解体処理技術講習会の実施や、「愛知県野生鳥獣肉衛生管理ガイドライン」の普及啓発、野生鳥獣肉処理施設等の衛生管理指導など、愛知産ジビエの安全な流通に向けた取組を実施しました。

【保健医療局生活衛生課】

<水産物等の地域資源を活用した情報発信>

- ・県産水産物の知名度向上のため、SNS、雑誌、各種行事において、PRを行いました。

【農業水産局水産課】

- ・Facebook や Instagram などの SNS における、アマゴや絹姫サーモンなどの地域の水産物や五平餅などのソウルフードに関する投稿により、地域資源を活用した情報発信を実施しました。

【総務局市町村課地域振興室】

◆地域に密着したスポーツの普及・支援の推進

<スポーツを通じた集客・交流、アジア競技大会につながる取組>

- ・ラリーの最高峰に位置する世界選手権「F I A世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン」では、大会のPRや愛知の魅力を発信しました。

©Rally Japan

開催日：2024年11月21日～24日

開催場所：

豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・林道・農道（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、中津川市、恵那市）

【スポーツ局スポーツ振興課】



- ・国内屈指の難関トレイルレース「奥三河 Trail Running Race」については、大会のPRやトレランEXPOの盛り上げ、エイドステーションにおける地域特産品の提供等により、愛知の魅力を発信しました。

開催日：2024年10月27日

コース：設楽町立田口小学校～

ふれあいパークほうらい(新城市)

参加者数：264人

【スポーツ局スポーツ振興課】



- ・愛知県東三河地域と静岡県遠州地域で開催されるマラソン大会（対象大会）のそれぞれの記録により獲得するポイントの合計でランキングを競う**三遠マラソンシリーズ**を開催しました。

対象大会：「とよね・みどり湖ハーフマラソン」、「袋井クラウンメロンマラソン」、「新城マラソン大会」、「三河湾健康マラソン大会」

参加者数：157名

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）

- ・第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）では、**自転車競技（ロードレース）が新城市を発着とするコース**として予定されていることから、競技に関心の高いサイクリストに対して高い訴求力を持つインフルエンサーを起用した情報発信を行いました。

YouTube 動画配信：2名、各2本

イベント：全5回、計44名参加

【東三河総局企画調整課】（再掲）

◆自然環境・生物多様性の保全・利用の促進

＜自然環境の保全活動や環境学習に対する支援等＞

- ・新城設楽生態系ネットワーク協議会（構成：大学、NPO等、企業、市町村及び県）は、三河山間地域の豊かな自然環境を守るため、植樹等を行う**自然体感ツアー**や**生物多様性に関するフォーラム**などを開催しました。

【環境局自然環境課】

- ・あいち森と緑づくり事業による、地域住民や団体等による**保全活用を前提とした里山林整備**を実施しました。

2024年度 2件実施（三河山間地域分）

【農林基盤局森林保全課森と緑づくり推進室】

- ・森・緑の育成活動事業、水と緑の恵み体感事業、森林生態系保全の学習事業、太陽・自然の恵み学習事業などを行う**NPO等**に対し、**あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業による活動支援**を実施しました。

支援対象 16事業（三河山間地域分）

【環境局環境活動推進課】

- ・水源林保全活動等に取り組む**市町村等**に対し、活動に必要な経費の一部について、（公財）**豊川水源基金**及び（公財）**矢作川水源基金**を通じて補助しました。

【建設局水資源課】

- ・自然公園法及び愛知県立自然公園条例に基づく許認可制度の適正な運用により**優れた自然の風景地**を保護しました。

【環境局自然環境課】

- ・**国定公園内の自然公園施設**について、利用者の安全で快適な利用を確保するため、**老朽化した施設の再整備・修繕**を実施しました。

【環境局自然環境課】

柱5 新たなライフスタイルへの対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式への対応により注目されている、テレワークやワーケーションの促進を図ります。
- ・ 新たなモビリティサービスの導入やドローンを活用した物流促進など、新しい技術を活用することで、これまでにない山間地域での暮らしのあり方を確立します。

<進捗管理指標>

指標名	実績値（2024年度）	目標値（2025年度）
主なリモートワーク可能施設数 （累計）	15 か所	18 か所
リモートワーク実証実験数 （累計）	【達成】12 件	9 件
空き家・空き地の調査件数 （累計）	【達成】330 件	300 件

（2024年度の主な取組）

◆テレワークやワーケーションの促進・誘致

<テレワークやワーケーションの促進>

- ・ 三河山間地域の魅力を情報発信しているWEBサイト「あいちの山里時間」にワーケーションのモデルコースを掲載し、三河山間地域におけるワーケーション等を促進しました。

【総務局市町村課地域振興室】

<テレワーク導入に向けた支援>

- ・ 中小企業等に対し、テレワークの導入や定着について相談対応等を行うサポートセンターやテレワーク体験等ができるモデルオフィスを設置・運営したほか、導入事例動画の紹介や、アドバイザーの派遣等、様々な支援を実施しました。

サポートセンターにおける相談件数：2,029件（全県）

アドバイザー派遣：127回（全県）

テレワーク関連セミナーの開催：8回・233名参加（全県）

【労働局労働福祉課】

- ・企業における働き方改革の取組を支援するため、サポートセミナーやワークショップを開催しました。

サポートセミナー：全15回、507名参加

ワークショップ：全2回、39名参加

【労働局労働福祉課】

◆空き家・空き地の流通促進

- ・県及び人口問題対策が特に必要な地区を有する市町村が、人口問題の現状や課題を共有するとともに、連携・協力して、当該地区の実情に応じた人口問題対策を検討するため設置された「愛知県・市町村人口問題対策検討会議」のなかに「空き家活用ワーキンググループ」を設置し、移住希望者の住まいの確保に向けて空き家を利活用する際の課題・問題点等を参加市町村とともに整理し、今後の取組について検討しました。

人口問題対策が特に必要な地区を有する市町村：

岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村を始めとする県内11市町村

【政策企画局地方創生課・総務局市町村課地域振興室・建築局住宅計画課】

◆新たなモビリティサービスやドローンなどの新技術の導入支援

<高齢者等の住民の移動手段確保につながる取組への支援>

- ・あいち自動運転推進コンソーシアムによる実証実験の支援を行い、県内において23件の自動運転実証実験が実施されました。

【経済産業局次世代モビリティ産業課】

- ・M a a S 推進会議を2回開催し、新たなモビリティサービスの導入促進などについて検討するとともに、東三河地域においてM a a S アプリの実証実験を実施しました。

【都市・交通局交通対策課】

- ・環境性能に優れたEV・PHV・FCVといった**ゼロエミッション自動車の普及に向けた取組**を進めました。（全県で実施）

先進環境対応自動車導入補助：783台

自動車税種別割の課税免除：7,250台

充電インフラ導入促進補助：89基

13件のイベント等にEV・PHV・FCVを出展

【環境局地球温暖化対策課】

- ・県の中山間地域での代表的な良食味ブランド米である**ミネアサヒ SBL**について、高品質栽培技術に関する研究を実施しました。

【農業水産局農業経営課】

- ・ドローンによる苗木等の運搬技術の普及のため、**ドローン活用研修会**を実施しました。

研修会：2回

2024年11月10日 新城市富岡

2024年11月28日 豊根村下黒川

【農林基盤局林務課】

- ・県、市町村、林業経営体が森林に関する情報を相互に利用できる**森林クラウドシステム**について、**本格運用を開始**しました。

【農林基盤局林務課】



＜ドローンの実験や導入に向けての支援＞

- ・市町村が整備する緊急支援物資の調達・輸送等に無人航空機を活用する事業について、財政的支援を実施しました。（**南海トラフ地震等対策事業費補助金**）

補助額：4,655千円（全県）

【防災安全局災害対策課】

地域別の取組状況

あいち山村振興ビジョン2025では、三河山間地域全体を一律に捉えるのではなく、都市部への距離、地域の特性、自然環境、各自治体におけるまちづくり戦略を考慮し、地域別の視点を導入してきめ細やかな分析・対応を行うため、地域を「額田地域」、「豊田加茂地域」、「新城地域」、「北設楽地域」の4つに分け、それぞれの地域の実情に沿った施策を展開しています。ここでは、2024年度に実施した地域別の主な取組（県、市町村）について御紹介します。

○額田地域

岡崎市中心部を始めとする産業の活力を地域経済や暮らしの豊かさに波及させながら都市部との結びつきの強化を活かした施策を展開。

(2024年度の主な取組)

- ・地域の魅力発信、地域資源を活用したイベントに取組み、都市部住民を地域に呼び込み活性化を図りました。



わんぱくまつり

【岡崎市】

- ・高収益作物（漆・楮）の植栽・維持管理を進めるとともに、商品開発にも取り組みました。また、農地を保全し、多面的機能の維持・発揮を促進するため、土地利用構想図の作成のための地域の話合いを進めるとともに、農地利用に関する実証も行いました。また、有機農業を核とした地域ブランディング等を図るため、栽培手法の実証等に取り組みました。



漆植栽状況



有機農産物（米）の学校給食提供



アイガモロボ

【岡崎市】

- ・地域内既存施設の有効活用方法を検討し、関係人口創出・拡大を図りました。



オクオカ活性化拠点下山 YAMABIKO
(旧 J A 下山支店)



イベント「となりの田んぼ」

【岡崎市】

- ・価格面だけではなく、環境面からの有効性も踏まえて市産材の利用促進を図り、商品開発にも取り組み、イベント等での販売も行いました。

【岡崎市】

- ・あいちの山里関係人口拡大事業における「ぬかたブランド応援プロジェクト」として、岡崎市額田地区で生産した逸品ぞろいの名産品に地域名を付与した地域ブランドである「ぬかたブランド」について、認知度向上のため、大隈通り商店会（東京都新宿区西早稲田）において、テストマーケティングやPRを実施しました。



【岡崎市、総務局市町村課地域振興室】

○豊田加茂地域

都市部との近接性を活かした二地域居住やU I J ターン促進を行うとともに、リニア中央新幹線開業による新しい人の流れを取り込む施策を展開。

(2024 年度の主な取組)

- ・空き家を住宅資源として活用する空き家情報バンク等の事業を実施したほか、同事業に付随する各種事業を実施しました。
 - ・補助事業（片付け補助件数・金額：19 件
改修補助件数・金額：23 件）
 - ・起業支援（2 件）
 - ・足助・稲武空き家見学バスツアー（9 月、11 人）
 - ・下山中学校と連携したツアープラン作成（10 月）
 - ・空き家落語とセミナー開催(地域支援課（会場：足助）8 月、約 100 人）
 - ・空き家片付け・草刈・相談等イベント(小原：6 月、旭：11 月、稲武：1 月)
 - ・定住促進委員との連携(随時)

【豊田市】

- ・豊田市の住まいに関する魅力を発信するプロモーション事業を実施するとともに、引き続き首都圏からの移住、山村部での住宅取得を応援する補助金事業を実施しました。

イベント出展

- ・ふるさと回帰フェア 2024（2024 年 9 月 21 日、22 日 東京都）
- ・いい街発見！地方の暮らしフェア 2024（2024 年 10 月 5 日 名古屋市）

豊田市 U I J ターン就業・起業者定住応援補助金

補助件数 3 件（うち三河山間地域：1 件）

豊田市山村地域等定住応援補助金

補助件数 82 件（うち三河山間地域：18 件）

豊田市結婚新生活支援補助金

補助件数 228 件（うち三河山間地域：1 件）

【豊田市】

- ・山村地域への移住定住や都市と山村の交流に関する総合相談窓口となるおいでん・さんそんセンターを運営するとともに、都市部の市民や団体、事業者等と山村部の交流機会を創出するマッチングやコーディネートを行いました。また、山村の価値を、都市部を含む市民と共有するとともに、とよたの山里応援隊の募集派遣等を通じて山村地域の集落活動の支援を行いました。



- ・集落活動サポート事業によるボランティア派遣：

13回、ボランティア 55名参加

- ・応援隊研修会（1回）・草刈り講習会（4回）の開催
- ・空き家物件見学交流会支援（2回）

【豊田市】

- ・1年を通して集落活動に参加をしながら山村の暮らしや生業を学ぶ人材育成事業「山里ひとなる塾」を開催しました。

受講者数：17名

うち山村地域への移住者数：3名

【豊田市】

- ・道の駅どんぐりの里いなぶにおいて、ゆるキャン△の放映にちなんだ稲武カステラ及びキャラクターパネルの設置など、地元産品をPRした商品販売やイベント広場を活用した賑わい創出を支援しました。

（イベント広場を活用した主な取組）

- ・稲武おいでんまつりの開催（6月29日）
- ・全国金魚すくい選手権大会あいち大会の開催（7月28日）
- ・ファームいなぶと合同でとうもろこしもぎ取り無料体験会の実施（8月6日）

【豊田市】

○新城地域

新たに東名高速道路に計画されているスマートICなど、交通ネットワークの拡充や道の駅を核とした広域観光ネットワークを活かした施策を展開。

(2024年度の主な取組)

- ・豊橋新城スマートIC（仮称）について早期供用に向け共同事業者となる豊橋市、中日本高速道路株式会社と共に、詳細設計、土地評価業務、事業損失防止調査、用地取得及び物件補償等を行いました。

※豊橋新城スマートIC（仮称）について、2021年8月6日に新規事業化が決定しています。

【新城市】

- ・東三河ドローン・リバー構想推進協議会の事務局として実証実験への支援を継続するとともに、過疎地域におけるドローンを活用した荷物搬送について、現状の課題と今後の可能性について検証しました。また、災害時のドローン活用について、崩落した林道の点検をレベル3.5飛行により検証しました。



【新城市】

- ・新城市商工会との共催により開催されるしんしろ軽トラ市の開催への支援を実施しました。

開催回数：12回

来場者：年間 23,069人



【新城市】

- ・第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）において、自転車競技（ロードレース）の競技会場として予定されている新城市が、自転車のまちとして、市民にも自転車が普及していくように、地域プロジェクトマネージャーと地域おこし協力隊が連携し、サイクルツーリズムの推進を図るとともに、市民が自転車に触れる機会を創出しました。

- ・JBCF 新城クリテリウムの開催支援（2024年6月1日、2日）

実施場所：新城総合公園

参加者数：211人



- ・モブ・新城ロードレース（2024年9月8日）

実施場所：桜淵公園及び周辺道路

参加者数・観客数：約140人・約2,000人



- ・市内小学生を対象とした自転車安全教室の実施

実施場所・参加者数：八名小学校・141人、鳳来中部小学校・48人

千郷小学校・80人



【新城市】

- ・自転車競技の認知度向上を目的としたロードレースの大会を実施する事業に対し補助金の交付を行いました。

元氣な愛知の市町村づくり補助金（チャレンジ枠）：補助額 4,775 千円

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・新城市、豊根村、蒲郡市、静岡県袋井市で開催されるマラソン大会を対象として、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の全線開通による交流の活発化を見据え、三遠南信地域と連携したマラソンシリーズを開催しました。

実績：157 名が参加。

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）

- ・あいちモビリティイノベーションプロジェクト
実証実験業務として、新城市の河川上空を航路とした複数目的地へのドローン配送を行いました。

実施期間：2024 年 11 月 27 日から 12 月 26 日

配送回数：悪天候等を除く 25 回

【次世代モビリティ産業課】



○北設楽地域

事業承継や起業支援を行うとともに、リニア中央新幹線開業や三遠南信道路全線開通を見据えた他県や県内市町村との連携を含む広域的施策を展開。

(2024年度の主な取組)

- ・設楽町内での創業や特産品開発、販路拡大について支援しました。(商工業活性化補助金(創業支援事業))

販路拡大事業 3件 349千円

創業支援事業 1件 1,000千円

【設楽町】

- ・特定地域づくり事業協同組合「したらワークス協同組合」では、派遣労働者を2名採用し、3つの事業所へ派遣しました。

※特定地域づくり事業協同組合とは、地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するためマルチワーカー(季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事)に係る労働者派遣事業等を行う事業協同組合の事です。「したらワークス協同組合」は、2023年1月20日に県内初の事業協同組合として認定されました。

【設楽町】

- ・空地・空き家バンク制度の運用及び若者新築住宅補助制度などにより、移住定住を促進させました。

空地・空き家バンク掲載WEBサイト「設楽ぐらし」の閲覧者：6,289人

若者住宅新築補助金 件数・金額：2件・4,000千円

【設楽町】

- ・地域振興を目的とした起業を目指している7人の地域おこし協力隊を支援しました。

アウトドアスポーツの推進：1名

商品開発(沢わさびの生産、設楽町産ワインの製造・ワイナリー設立)：2名

農業(耕作放棄地を活用した自然栽培による野菜や果樹の生産)：1名

したらワークス協同組合事務局人材：2名

デザイン業務・拠点づくり(菓子類の販売)：1名

【設楽町】

- ・まちの賑わい創出、地域課題解決につながる起業に対する経費を助成しました。
（元気な地域賑わい創出事業）

起業応援プロジェクト事業実践者件数・金額：3件・1,200千円

【東栄町】

- ・「ポタリング」を切り口に、東栄町内の地域資源を活かしたまちめぐりを楽しむ「ぽたび」事業を推進するため、サイクリストの周遊性の向上・受入体制の強化や「ぽたび」に協力するサイクリスト「ポタビスト」を増やす取組や地元ガイドとしての育成を行いました。（サイクリスト歓迎のまち構築事業）

【東栄町】

- ・あいちの山里関係人口拡大事業における「磁力のある情報拠点『ぽたび』の機能強化と磨き上げによる関係人口の拡大化」として、地域ブランディングに関する外部人材によるまちづくりの提案を行いました。

【東栄町、総務局市町村課地域振興室】

- ・「空き家バンク制度」、「とうえい暮らしのカラフルパッケージ（定住等補助金）」と「移住ソムリエ」等の活用により移住者の確保につなげました。

暮らしのカラフルパッケージ実績

- ・空き家活用支援補助件数・金額：7件・2,900千円
- ・移住者通勤支援補助件数・金額：2件・117千円
- ・若者定住支援補助件数・金額：11件・259千円
- ・定住促進支援補助件数・金額：1件・300千円

【東栄町】

- ・新たな起業や特産品の開発に対し、必要な設備や資材・広告費などの補助を行いました。（起業・特産品開発補助事業、補助率1/2、上限50万円）

交付金補助件数・補助金額：2件、726千円

【豊根村】

- ・移住お試し住宅（短期滞在施設）や空き家活用支援補助金等、各種補助金を用意し、ふるさと回帰支援センターとも連携し移住相談を行い、関係人口の拡大や定住促進につなげました。

【豊根村】

- ・名古屋圏と奥三河地域の交流促進を目的として、奥三河の食材（豊根村産のチョウザメ）を使用したレシピ開発を学校法人愛知調理専門学校（名古屋市北区）に依頼し、豊根村の道の駅「豊根グリーンポート宮嶋（みやじま）」にて新メニューの販売を開始しました。（2024年10月1日より販売開始）



チョウザメフライ



チョウザメステーキと
ふるさとの野菜丼



高原トマトの
チョウザメパスタ

【東三河総局新城設楽振興事務所】

- ・おでかけ北設事業として、北設3町村による連携した公共交通網システムを実施しました。町村間相互乗り入れバス、まちなか周回定期バス、予約バスの機能的な運行により、暮らし続けられる地域の維持を目指しました。

- ・予約バスの運行（設楽町、東栄町、豊根村）
- ・路線バス利用促進事業の実施（商業施設等への路線バスおでかけイベント）（設楽町）
- ・町中心部の周回バス「東栄まちなか線」の運行（東栄町）
- ・富山線の車両更新（豊根村）

【設楽町、東栄町、豊根村】

- ・北設楽郡唯一の高等学校である田口高校では、北設楽郡内の仕事を学び、地域で働くことへの意識を高める「田口高校お仕事フェア2024」（2024年5月20日）を開催しました。

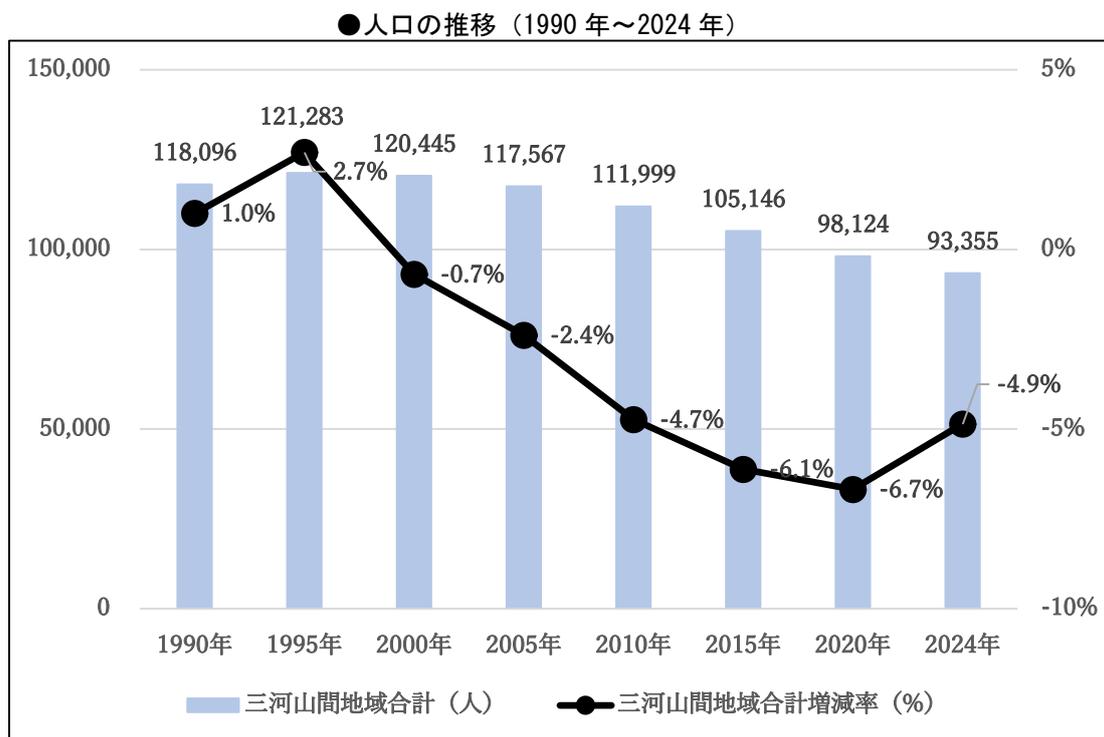
【設楽町、東栄町、豊根村】

- ・新城市、豊根村、蒲郡市、静岡県袋井市で開催されるマラソン大会を対象として、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の全線開通による交流の活発化を見据え、三遠南信地域と連携したマラソンシリーズを開催しました。

実績：157名が参加。

【東三河総局新城設楽振興事務所】（再掲）

第3章 参考資料



区分	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2024年
岡崎市（一部）（人）	9,410	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,277
豊田市（一部）（人）	35,994	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	37,265
新城市（人）	54,965	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	41,455
設楽町（人）	8,724	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	3,871
東栄町（人）	5,898	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,597
豊根村（人）	1,933	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	890
三河山間地域合計（人）	116,924	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	93,355
三河山間地域合計増減率（%）	—	1.0%	2.7%	-0.7%	-2.4%	-4.7%	-6.1%	-6.7%	-4.9%

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「住民基本台帳」、豊田市「住民基本台帳」

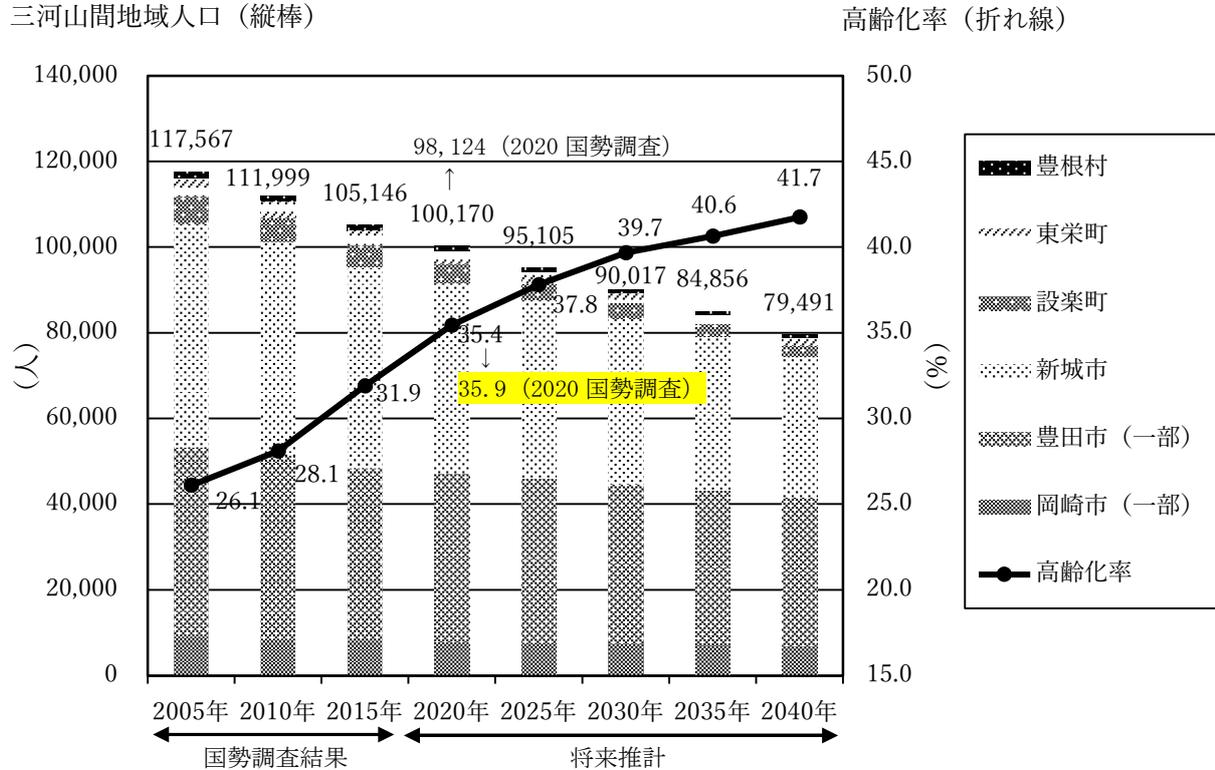
※岡崎市（一部）：額田地区、豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2024年は、岡崎市及び豊田市は「住民基本台帳（2024年10月1日現在）」、新城市、設楽町、東栄町及び豊根村は「あいちの人口（2024年年報）」

2024年の三河山間地域の人口（推計値）は、93,355人となっており、市町村別の人口は、岡崎市（額田地区）が7,277人、豊田市（藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区、稲武地区）が37,265人、新城市が41,455人、設楽町が3,871人、東栄町が2,597人、豊根村が890人である。

なお、三河山間地域の人口は1995年国勢調査以降、年々減少しており、2020年国勢調査では人口が100,000人を下回り、その後も減少傾向にある。

●三河山間地域の人口及び高齢化率の推移・推計



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年推計）

※岡崎市（一部）：額田地区

豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※岡崎市及び豊田市の2020年以降の推計値は、各種統計データをもとに年齢不詳者を除いた2015年値から推計した値

ビジョン策定時において三河山間地域の人口は2020年には100,170人、高齢化率35.4%という推計であったが、2020年国勢調査の結果によると、人口は98,124人、高齢化率は35.9%となっており、推計値を上回るペースで人口減少及び高齢化が進んでいる。

●年齢別人口

(1) 5歳階級別

単位：人

区分	岡崎市（一部）			豊田市（一部）			新城市			設楽町			東栄町			豊根村		
	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年
総数	8,109	7,531	7,277	40,249	37,842	37,265	47,133	44,355	41,455	5,074	4,437	3,871	3,446	2,942	2,597	1,135	1,017	890
0～4	245	182	154	1,338	1,138	864	1,561	1,201	894	104	78	66	84	75	51	16	26	9
5～9	312	273	224	1,573	1,511	1,325	1,843	1,692	1,372	129	118	79	94	89	73	34	19	29
10～14	384	341	274	1,902	1,618	1,562	2,132	1,839	1,746	165	132	128	101	92	89	59	35	25
15～19	375	323	311	2,185	1,665	1,535	2,197	2,027	1,883	147	116	118	90	67	83	21	25	30
20～24	320	280	268	1,918	1,651	1,658	1,645	1,637	1,697	95	79	49	58	52	32	8	14	10
25～29	294	239	223	1,838	1,438	1,442	1,904	1,498	1,221	128	116	59	85	59	28	26	20	14
30～34	373	244	240	1,755	1,613	1,538	2,336	1,803	1,395	176	102	93	107	78	56	33	26	18
35～39	414	385	292	1,977	1,849	1,866	2,606	2,328	1,840	181	164	91	129	113	95	37	35	30
40～44	546	428	413	2,530	2,042	1,993	2,845	2,602	2,392	227	176	185	151	126	118	51	40	42
45～49	418	542	471	2,699	2,523	2,143	2,596	2,837	2,742	220	224	176	146	126	136	44	53	35
50～54	452	414	559	3,169	2,637	2,613	2,850	2,537	2,882	289	230	222	183	142	124	58	43	54
55～59	596	436	396	3,114	3,084	2,775	3,253	2,845	2,551	360	275	244	236	181	153	88	61	52
60～64	735	589	492	3,173	3,013	3,022	3,823	3,205	2,909	447	346	291	302	232	192	110	87	62
65～69	753	723	600	2,992	3,097	3,018	4,188	3,717	3,240	498	427	374	358	279	232	107	114	84
70～74	541	709	714	2,022	2,844	3,005	3,127	3,965	3,708	415	473	435	259	330	286	87	108	106
75～79	446	484	629	1,958	1,865	2,565	2,706	2,852	3,452	450	376	397	311	225	281	95	75	87
80～84	419	382	423	1,882	1,681	1,697	2,516	2,305	2,481	452	394	346	323	257	217	120	79	73
85歳以上	479	549	594	2,157	2,371	2,644	2,834	3,193	3,050	586	593	518	429	399	351	141	157	130
年齢不詳	7	8	-	67	202	-	171	272	-	5	18	-	0	20	-	0	0	-

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「住民基本台帳」、豊田市「住民基本台帳」

※岡崎市（一部）：額田地区、豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2024年は、岡崎市及び豊田市は「住民基本台帳（2024年10月1日現在）」、新城市、設楽町、東栄町及び豊根村は「あいちの人口（2024年年報）」

(2) 3区分別

単位：人（上段）、%（下段）

区分	岡崎市（一部）			豊田市（一部）			新城市			設楽町			東栄町			豊根村		
	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年	2015年	2020年	2024年
0～14歳	941	796	652	4,813	4,267	3,751	5,536	4,732	4,012	398	328	273	279	256	213	109	80	63
	11.6%	10.6%	8.9%	12.0%	11.3%	10.1%	11.8%	10.7%	9.7%	7.8%	7.4%	7.0%	8.1%	8.8%	8.2%	9.6%	7.9%	7.1%
15～64歳	4,523	3,880	3,665	24,358	21,515	20,585	26,055	23,319	21,512	2,270	1,828	1,528	1,487	1,176	1,017	476	404	347
	55.8%	51.6%	50.4%	60.6%	57.2%	55.2%	55.5%	52.9%	51.9%	44.8%	41.4%	39.5%	43.1%	40.2%	39.2%	41.9%	39.7%	39.0%
65歳以上	2,638	2,847	2,960	11,011	11,858	12,929	15,371	16,032	15,931	2,401	2,263	2,070	1,680	1,490	1,367	550	533	480
	32.6%	37.8%	40.7%	27.4%	31.5%	34.7%	32.7%	36.4%	38.4%	47.4%	51.2%	53.5%	48.8%	51.0%	52.6%	48.5%	52.4%	53.9%
総数	8,102	7,523	7,277	40,182	37,640	37,265	46,962	44,083	41,455	5,069	4,419	3,871	3,446	2,922	2,597	1,135	1,017	890

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口（年報）」、岡崎市「住民基本台帳」、豊田市「住民基本台帳」

※岡崎市（一部）：額田地区、豊田市（一部）：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2024年は、岡崎市及び豊田市は「住民基本台帳（2024年10月1日現在）」、新城市、設楽町、東栄町及び豊根村は「あいちの人口（2024年年報）」

三河山間地域市町村の人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は全域で増加傾向にあり、2024年は岡崎市（額田地区）40.7%、豊田市（藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区、稲武地区）34.7%、新城市38.4%、設楽町53.5%、東栄町52.6%、豊根村53.9%と、特に北設楽郡3町村で50%を超える高い割合となっている。

●人口及び世帯数の推移

区分		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2024年
岡崎市 (一部)	人口(人)	9,512	9,515	9,414	9,103	8,614	8,109	7,531	7,277
	増減率(%)	-	0.0	△ 1.1	△ 3.3	△ 5.4	△ 5.9	△ 7.1	△ 3.4
	世帯数(世帯)	2,278	2,378	2,471	2,543	2,644	2,599	2,581	3,049
	増減率(%)	-	4.4	3.9	2.9	4.0	△ 1.7	△ 0.7	18.1
	世帯平均(人)	4.2	4.0	3.8	3.6	3.3	3.1	2.9	2.4
豊田市 (一部)	人口(人)	38,522	42,721	44,123	44,116	42,659	40,249	37,842	37,265
	増減率(%)	-	10.9	3.3	△ 0.0	△ 3.3	△ 5.6	△ 6.0	△ 1.5
	世帯数(世帯)	10,101	11,578	12,515	13,066	13,455	13,597	13,656	15,498
	増減率(%)	-	14.6	8.1	4.4	3.0	1.1	0.4	13.5
	世帯平均(人)	3.8	3.7	3.5	3.4	3.2	3.0	2.8	2.4
新城市	人口(人)	54,583	54,602	53,603	52,178	49,864	47,133	44,355	41,455
	増減率(%)	-	0.0	△ 1.8	△ 2.7	△ 4.4	△ 5.5	△ 5.9	△ 6.5
	世帯数(世帯)	14,311	15,180	15,703	16,156	16,430	16,454	16,633	16,706
	増減率(%)	-	6.1	3.4	2.9	1.7	0.1	1.1	0.4
	世帯平均(人)	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.5
設楽町	人口(人)	8,225	7,599	6,959	6,306	5,769	5,074	4,437	3,871
	増減率(%)	-	△ 7.6	△ 8.4	△ 9.4	△ 8.5	△ 12.0	△ 12.6	△ 12.8
	世帯数(世帯)	2,587	2,545	2,422	2,269	2,194	2,015	1,845	1,668
	増減率(%)	-	△ 1.6	△ 4.8	△ 6.3	△ 3.3	△ 8.2	△ 8.4	△ 9.6
	世帯平均(人)	3.2	3.0	2.9	2.8	2.6	2.5	2.4	2.3
東栄町	人口(人)	5,441	5,124	4,717	4,347	3,757	3,446	2,942	2,597
	増減率(%)	-	△ 5.8	△ 7.9	△ 7.8	△ 13.6	△ 8.3	△ 14.6	△ 11.7
	世帯数(世帯)	1,741	1,728	1,690	1,633	1,497	1,436	1,294	1,199
	増減率(%)	-	△ 0.7	△ 2.2	△ 3.4	△ 8.3	△ 4.1	△ 9.9	△ 7.3
	世帯平均(人)	3.1	3.0	2.8	2.7	2.5	2.4	2.3	2.2
豊根村	人口(人)	1,813	1,722	1,629	1,517	1,336	1,135	1,017	890
	増減率(%)	-	△ 5.0	△ 5.4	△ 6.9	△ 11.9	△ 15.0	△ 10.4	△ 12.5
	世帯数(世帯)	622	654	619	511	555	490	437	401
	増減率(%)	-	5.1	△ 5.4	△ 17.4	8.6	△ 11.7	△ 10.8	△ 8.2
	世帯平均(人)	2.9	2.6	2.6	3.0	2.4	2.3	2.3	2.2
三河 山間地域	人口(人)	118,096	121,283	120,445	117,567	111,999	105,146	98,124	93,355
	増減率(%)	-	2.7	△ 0.7	△ 2.4	△ 4.7	△ 6.1	△ 6.7	△ 4.9
	世帯数(世帯)	31,640	34,063	35,420	36,178	36,775	36,591	36,446	38,521
	増減率(%)	-	7.7	4.0	2.1	1.7	△ 0.5	△ 0.4	5.7
	世帯平均(人)	3.7	3.6	3.4	3.2	3.0	2.9	2.7	2.4

出典：総務省「国勢調査」、愛知県「あいちの人口(年報)」、岡崎市「住民基本台帳」、豊田市「住民基本台帳」

※岡崎市(一部)：額田地区、豊田市(一部)：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

※2024年は、岡崎市及び豊田市は「住民基本台帳(2024年10月1日現在)」、新城市、設楽町、東栄町及び豊根村は「あいちの人口(2024年年報)」

人口については、1995年国勢調査以降減少傾向にあり、人口減少割合も増加している。世帯数の減少割合は、人口減少割合よりも緩やかなペースであるが、減少傾向となっており、2020年国勢調査では初めて、全ての市町村で1世帯あたり3人を下回る結果となった。

●人口の異動状況

単位：人

区 分		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
岡崎市	自然増減 A (B - C)	618	400	37	△ 87	△ 244	△ 604	△ 849	△ 1,080
	出生数 B	3,604	3,518	3,230	3,026	2,937	2,899	2,674	2,534
	死亡数 C	2,986	3,118	3,193	3,113	3,181	3,503	3,523	3,614
	社会増減 D (E - F + G)	1,220	1,018	323	△ 1,385	△ 534	△ 172	△ 358	455
	転入数 E	16,003	16,707	16,930	13,846	14,012	15,569	15,226	15,817
	転出数 F	14,814	15,568	16,367	15,196	14,514	15,697	15,540	15,347
	その他増減 G	31	△ 121	△ 240	△ 35	△ 32	△ 44	△ 44	△ 15
増減計 A + D	1,838	1,418	360	△ 1,472	△ 778	△ 776	△ 1,207	△ 625	
豊田市	自然増減 A (B - C)	771	431	244	143	△ 375	△ 664	△ 1,160	△ 1,347
	出生数 B	3,788	3,708	3,390	3,342	3,078	2,929	2,728	2,522
	死亡数 C	3,017	3,277	3,146	3,199	3,453	3,593	3,888	3,869
	社会増減 D (E - F + G)	231	△ 321	70	△ 3,201	△ 2,687	△ 1,348	31	△ 249
	転入数 E	17,739	18,530	19,426	15,397	14,820	16,667	18,027	18,273
	転出数 F	17,634	18,703	19,167	18,579	17,413	17,958	17,894	18,517
	その他増減 G	126	△ 148	△ 189	△ 19	△ 94	△ 57	△ 102	△ 5
増減計 A + D	1,002	110	314	△ 3,058	△ 3,062	△ 2,012	△ 1,129	△ 1,596	
新城市	自然増減 A (B - C)	△ 404	△ 440	△ 453	△ 429	△ 503	△ 539	△ 534	△ 603
	出生数 B	232	230	225	198	187	162	143	140
	死亡数 C	636	670	678	627	690	701	677	743
	社会増減 D (E - F + G)	△ 206	△ 212	△ 232	△ 307	△ 340	△ 93	△ 114	△ 174
	転入数 E	1,347	1,416	1,427	1,216	1,089	1,412	1,289	1,310
	転出数 F	1,534	1,606	1,644	1,533	1,423	1,501	1,406	1,483
	その他増減 G	△ 19	△ 22	△ 15	10	△ 6	△ 4	3	△ 1
増減計 A + D	△ 610	△ 652	△ 685	△ 736	△ 843	△ 632	△ 648	△ 777	
設楽町	自然増減 A (B - C)	△ 91	△ 88	△ 81	△ 106	△ 78	△ 116	△ 101	△ 116
	出生数 B	18	19	11	12	14	14	16	9
	死亡数 C	109	107	92	118	92	130	117	125
	社会増減 D (E - F + G)	△ 59	△ 27	△ 36	△ 3	△ 26	△ 50	△ 52	△ 27
	転入数 E	115	117	110	111	97	103	99	109
	転出数 F	178	140	146	120	128	160	150	138
	その他増減 G	4	△ 4	0	6	5	7	△ 1	2
増減計 A + D	△ 150	△ 115	△ 117	△ 109	△ 104	△ 166	△ 153	△ 143	
東栄町	自然増減 A (B - C)	△ 83	△ 64	△ 68	△ 73	△ 64	△ 74	△ 71	△ 65
	出生数 B	12	11	18	13	11	9	6	13
	死亡数 C	95	75	86	86	75	83	77	78
	社会増減 D (E - F + G)	△ 32	△ 30	4	△ 20	△ 36	△ 15	△ 19	△ 1
	転入数 E	67	77	90	61	72	67	56	79
	転出数 F	96	102	78	79	111	80	75	80
	その他増減 G	△ 3	△ 5	△ 8	△ 2	3	△ 2	0	0
増減計 A + D	△ 86	△ 69	△ 76	△ 75	△ 61	△ 89	△ 90	△ 66	
豊根村	自然増減 A (B - C)	△ 21	△ 17	△ 22	△ 24	△ 26	△ 28	△ 35	△ 31
	出生数 B	6	5	1	4	0	3	1	1
	死亡数 C	27	22	23	28	26	31	36	32
	社会増減 D (E - F + G)	6	△ 21	△ 10	△ 7	△ 9	△ 11	9	4
	転入数 E	24	38	25	31	31	26	32	35
	転出数 F	20	59	42	39	41	38	21	32
	その他増減 G	2	0	7	1	1	1	△ 2	1
増減計 A + D	△ 15	△ 38	△ 32	△ 31	△ 35	△ 39	△ 26	△ 27	

出典：愛知県「あいちの人口（年報）」

※岡崎市及び豊田市は旧町村部ごとのデータが公表されていないため、全域のデータを使用している。

※その他増減は職権記載や職権消除等

人口の異動状況としては、概ね自然減・社会減の状況にある。全域のデータとなっている岡崎市・豊田市を除き、大きな増減の動きは見られないが、依然として人口減少の傾向が続いている。

●産業別就業者数

(1) 産業別就業者数

単位：人

産業大分類	岡崎市 (一部)		豊田市 (一部)		新城市		設楽町		東栄町		豊根村		三河山間地域合計	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
総数	4,167	3,922	21,133	20,257	24,380	23,395	2,476	2,156	1,568	1,344	547	492	54,271	51,566
第一次産業	335	298	1,284	1,085	2,066	1,869	508	399	139	89	73	63	4,405	3,803
農業	304	275	1,144	964	1,933	1,745	466	338	100	55	44	36	3,991	3,413
林業	31	23	133	113	125	112	30	50	36	33	26	22	381	353
漁業	0	0	7	8	8	12	12	11	3	1	3	5	33	37
第二次産業	1,525	1,321	8,747	7,846	9,096	8,514	532	450	441	344	144	99	20,485	18,574
鉱業・採石業・砂利採取業	6	3	21	14	34	28	17	8	20	10	0	1	98	64
建設業	362	307	1,494	1,374	1,938	1,716	229	228	206	195	90	67	4,319	3,887
製造業	1,157	1,011	7,232	6,458	7,124	6,770	286	214	215	139	54	31	16,068	14,623
第三次産業	2,240	2,097	10,604	10,508	12,831	12,370	1,425	1,282	980	885	329	327	28,409	27,469
電気・ガス・熱供給・水道業	19	21	57	55	78	64	7	7	3	3	2	1	166	151
情報通信業	31	30	119	131	124	102	5	1	2	4	0	0	281	268
運輸業・郵便業	226	211	826	821	828	785	78	72	55	44	25	20	2,038	1,953
卸売業、小売業	452	416	2,113	2,022	2,852	2,553	244	207	198	154	32	33	5,891	5,385
金融業、保険業	61	51	193	165	279	260	11	6	13	2	1	0	558	484
不動産業・物品賃貸業	35	32	114	139	196	187	5	7	6	9	0	0	356	374
学術研究、専門・技術サービス業	88	88	499	504	526	526	56	52	21	23	7	4	1,197	1,197
宿泊業・飲食サービス業	202	188	1,099	1,059	1,053	991	131	112	68	79	41	36	2,594	2,465
生活関連サービス業・娯楽業	144	135	900	876	908	861	91	76	97	71	18	27	2,158	2,046
教育・学習支援業	138	130	814	785	1,019	960	120	98	77	60	34	32	2,202	2,065
医療福祉	410	411	1,974	2,093	2,583	2,714	285	282	237	218	64	73	5,553	5,791
複合サービス業	38	32	259	259	391	384	58	50	39	46	16	18	801	789
サービス業 (他に分類されないもの)	267	250	1,160	1,219	1,164	1,192	142	139	82	90	38	26	2,853	2,916
公務 (他に分類されるものを除く)	129	102	477	380	830	791	192	173	82	82	51	57	1,761	1,585
分類不能	67	206	498	818	387	642	11	25	8	26	1	3	972	1,720

出典：総務省「国勢調査」

※岡崎市 (一部)：額田地区

豊田市 (一部)：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

(2) 産業別就業者数の割合・就業者数増減率 (2015年～2020年)

単位：%

産業大分類	岡崎市 (一部)		豊田市 (一部)		新城市		設楽町		東栄町		豊根村		三河山間地域合計	
	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年	2015年	2020年
第一次産業の占める割合	8	7.6	6.1	5.4	8.5	8	20.5	18.5	8.9	6.6	13.3	12.8	8.1	7.4
労働者数増減率	△ 11.0		△ 15.5		△ 9.5		△ 21.5		△ 36.0		△ 13.7		△ 13.7	
第二次産業の占める割合	36.6	33.7	41.4	38.3	37.3	36.4	21.5	20.9	28.1	25.6	26.3	20.1	37.7	36
労働者数増減率	△ 13.4		△ 10.3		△ 6.4		△ 15.4		△ 22.0		△ 31.3		△ 9.3	
第三次産業の占める割合	53.8	53.5	50.2	51.9	52.6	52.9	57.6	59.5	62.5	65.8	60.1	66.5	52.3	53.3
労働者数増減率	△ 6.4		△ 0.9		△ 3.6		△ 10.0		△ 9.7		△ 0.6		△ 3.3	
分類不能	1.6	5.3	2.4	4	1.6	2.7	0.4	1.2	0.5	1.9	0.2	0.6	1.8	3.3
増減率	207.5		64.3		65.9		127.3		225		200		77	

出典：総務省「国勢調査」

※岡崎市 (一部)：額田地区

豊田市 (一部)：藤岡地区、足助地区、小原地区、下山地区、旭地区及び稲武地区

三河山間地域の産業別就業者数は、割合の大きい順に、第三次産業、第二次産業、第一次産業となっている。就業者数全体が減少する中で、第一次産業・第二次産業就業者数の割合は6市町村全てで減少しており、特に第一次産業では就業者数の減少割合が大きく、担い手不足が深刻な状況にある。

●三河山間地域における学校の状況

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2018年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	1	48				
		学級数	29	51	21	49	19	15	7	162	125	29	8	5	358					
		児童数(人)	354	1,119	132	354	170	77	65	1,917	2,193	153	116	35	4,768					
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18					
		学級数	9	24	5	9	6	4	4	52	54	8	4	5	132					
		生徒数(人)	212	598	78	159	106	48	46	1,035	1,171	84	52	28	2,582					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	4	1	/	/	7					
		学級数	/	9	/	9	/	/	/	18	28	6	/	/	52					
		生徒数(人)	/	278	/	243	/	/	/	521	1,066	120	/	/	1,707					

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2019年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48					
		学級数	28	52	21	48	18	14	6	159	128	28	8	6	357					
		児童数(人)	343	1,087	142	354	168	83	66	1,900	2,170	164	115	31	4,723					
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18					
		学級数	8	24	5	8	5	4	4	50	53	8	4	5	128					
		生徒数(人)	198	596	64	173	92	38	41	1,004	1,137	75	54	31	2,499					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	5	1	/	/	8					
		学級数	/	9	/	9	/	/	/	18	22	6	/	/	46					
		生徒数(人)	/	242	/	240	/	/	/	482	1,007	94	/	/	1,583					

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2020年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48					
		学級数	28	52	21	53	19	11	6	162	130	27	8	4	359					
		児童数(人)	333	1,069	140	364	161	86	65	1,885	2,125	165	113	28	4,649					
	中学校	学校数	1	1	2	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18					
		学級数	8	23	4	8	5	5	4	49	51	10	5	4	127					
		生徒数(人)	196	576	51	168	92	44	33	964	1,143	78	62	23	2,466					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	5	1	/	/	8					
		学級数	/	7	/	7	/	/	/	14	22	6	/	/	42					
		生徒数(人)	/	196	/	228	/	/	/	424	930	74	/	/	1,428					

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2021年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48					
		学級数	29	54	20	53	20	14	7	168	134	26	8	6	371					
		児童数(人)	331	1,032	130	345	169	122	69	1,867	2,065	151	107	27	4,548					
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18					
		学級数	8	23	4	8	6	5	4	50	51	9	5	3	126					
		生徒数(人)	175	571	55	192	91	40	30	979	1,119	72	57	20	2,422					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	3	1	/	/	6					
		学級数	/	8	/	9	/	/	/	17	21	6	/	/	44					
		生徒数(人)	/	172	/	196	/	/	/	368	887	69	/	/	1,324					

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2022年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48					
		学級数	29	56	20	52	20	12	7	167	132	25	8	6	367					
		児童数(人)	318	1,041	134	338	171	93	64	1,841	2,025	134	105	24	4,447					
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18					
		学級数	9	22	4	8	6	4	3	47	52	9	4	4	125					
		生徒数(人)	173	538	69	176	82	39	37	941	1,111	80	53	22	2,380					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	3	1	/	/	6					
		学級数	/	7	/	7	/	/	/	14	21	6	/	/	41					
		生徒数(人)	/	133	/	168	/	/	/	301	851	70	/	/	1,222					

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2023年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	5	1	1	48					
		学級数	31	55	20	55	21	12	7	170	128	26	8	6	369					
		児童数(人)	309	992	130	321	173	87	62	1,765	1,951	124	105	29	4,283					
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	2	1	1	18					
		学級数	9	23	5	8	5	3	3	47	54	11	4	4	129					
		生徒数(人)	179	571	74	184	73	33	35	970	1,095	85	50	18	2,397					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	3	1	/	/	6					
		学級数	/	6	/	6	/	/	/	12	21	6	/	/	39					
		生徒数(人)	/	115	/	135	/	/	/	250	852	76	/	/	1,178					

	市町村名	岡崎市							豊田市							新城市	設楽町	東栄町	豊根村	合計
		額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区	稲武地区	計	額田地区	藤岡地区	小原地区	足助地区	下山地区	旭地区					
2024年度	小学校	学校数	5	4	3	10	3	2	1	23	13	4	1	1	47					
		学級数	31	54	19	57	21	10	7	168	126	19	8	7	359					
		児童数(人)	309	983	122	311	171	76	60	1,723	1,881	115	91	36	4,155					
	中学校	学校数	1	2	1	1	1	1	1	7	6	1	1	1	17					
		学級数	8	23	5	8	5	4	3	48	51	6	5	3	121					
		生徒数(人)	173	551	71	159	77	41	33	932	1,057	85	58	17	2,322					
	高等学校	学校数	/	1	/	1	/	/	/	2	3	1	/	/	6					
		学級数	/	6	/	6	/	/	/	12	21	6	/	/	39					
		生徒数(人)	/	100	/	133	/	/	/	233	872	65	/	/	1,170					

出典：愛知県「学校一覧」

※私立の高等学校の学級数は公表されていないため、公立の高等学校の学級数のみ記載

三河山間地域の学校の児童・生徒数は、年々減少傾向となっており、学校の統廃合や閉校が行われている。

●財政力指数

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
岡崎市	1.02	1.03	1.04	1.02	1.01	1.00	1.01
豊田市	1.49	1.47	1.39	1.42	1.31	1.34	1.42
新城市	0.58	0.57	0.57	0.55	0.53	0.53	0.54
設楽町	0.23	0.24	0.24	0.24	0.23	0.23	0.24
東栄町	0.19	0.19	0.19	0.18	0.18	0.18	0.19
豊根村	0.25	0.26	0.28	0.27	0.27	0.26	0.27

出典：愛知県「愛知県内市町村の財政状況資料集」

※財政力指数は地方公共団体の財政力を示すもので、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値

三河山間地域の財政力指数について、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が定める過疎地域（全部過疎）の財政力要件（2017～2019年度平均が0.51以下）に、設楽町・東栄町・豊根村が該当している。

●三河山間地域における地域おこし協力隊人数

単位：人

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
岡崎市	-	-	-	-	-	1	1	3	3
豊田市	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新城市	5	2	3	1	1	1	1	2	2
設楽町	1	1	4	5	6	7	2	6	9
東栄町	4	4	3	1	1	1	3	5	5
豊根村	3	5	3	4	2	3	4	5	6
隊員数合計	14	12	13	11	10	13	11	21	25
受入自治体数	5	4	4	4	4	5	5	5	5

出典：総務省「令和6年度 地域おこし協力隊の隊員数等について」

●愛知県における任期終了者数及び定住率

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
任期終了者数（人）	31	34	41	44	21
定住者数（人）	20	21	25	26	12
定住率（%）	64.5	61.8	61.0	59.1	57.1

出典：総務省「令和6年度 地域おこし協力隊の定住状況等に係る調査結果」

なお、2024年度より調査方法が変更され、前年度末までの直近5年間に任期終了した隊員の定住状況等について調査を実施。

三河山間地域における地域おこし協力隊の受入自治体数は、2024年度は5団体となっている。受入人数は25人である。

また、総務省の調査（2024年度）によると、愛知県の地域おこし協力隊の任期終了者数は21人、そのうち定住者は12人であり、定住率は57.1%となっている。

※定住とは、活動地と同一市町村内に定住した者と、活動地の近隣市町村内に定住した者の計

あいち山村振興ビジョン 2025 年次レポート（2025 年度版）

2025 年 9 月

愛 知 県

山村振興推進本部（総務局総務部市町村課地域振興室）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-954-6097（ダイヤルイン）

ファックス 052-954-6981

電子メール chiiki-shinko@pref.aichi.lg.jp

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/>